データ管理

データBOX

データBOXには以下のような項目とフォルダがあります。種類に合わせてそれぞれのフォルダに保存されます。

マイピクチャ		
iモード		ダウンロードした静止画など
	iモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで撮影した静止画や撮影したキャラ電ピクチャなど
デコメピクチャ		デコメール®作成で使用できる静止画
	iモードで探す	データサイトに接続
デコメ絵文字	お気に入り※1	デコメール®作成で使用できる絵文字
	i絵文字※1	●お買い上げ時に保存されているデコメ絵文字®は削除できます。「P-SQUARE」(P.205参照)のサイトから再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。
	装飾※1	
	ハート・キラキラ※1	
	天気・季節※1	
	移動・生活※1	
	電話・メール※1	
	食べ物※1	
	キャラクター※1	
	文字※1	
	iモードで探す	データサイトに接続
プリインストール		お買い上げ時に登録されている静止画
自動お預かり※2		お預かりセンターに自動保存したい静止画
ピクチャアルバム		ピクチャアルバムを起動
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内の静止画
自作アニメ		静止画連続再生機能
フレーム/スタンプ		フレーム、マーカースタンプに使用できる静止画
iモードで探す		データサイトに接続
microSD	ピクチャ	カメラで撮影した静止画やFOMA端末からコピーしたDCF規格に準ずるJPEG形式、GIF形式の画像
	イメージボックス	FOMA端末からコピーしたGIF形式のアニメーション画像やDCF規格外のJPEG形式の画像
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のある静止画
	デコメ絵文字	FOMA端末からコピーしたデコメール®用の絵文字

ミュージック		
ミュージックプレーヤー		ミュージックプレーヤーを起動
iモード	初期フォルダ	サイトから取得した着うたフル®などの音楽データ
	ユーザフォルダ※3	ユーザフォルダ内の着うたフル®などの音楽データ
	iモードで探す	データサイトに接続
	microSD	ダウンロードしたり、FOMA端末から移動した著作権のある着うたフル®などの音楽データ
WMA		パソコンから取り込んだWMAファイル
Music&Videoチャネル		
配信番組		Music&Videoチャネルでダウンロードした番組
保存番組		FOMA端末に保存した番組
iモーション/ムービー		
iモード		サイトから取得したiモーションなど
	iモードで探す	データサイトに接続
カメラ		カメラで録画したiモーションや撮影したキャラ電の動画など
プリインストール		お買い上げ時に登録されているiモーション
ボイスレコーダー		ボイスレコーダーで録音した音声
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内のiモーション
BD/DVDレコーダー		HDDレコーダーから転送した動画
プレイリスト		プレイリスト再生
しおり		しおり再生
ムービー	microSD	ダウンロードしたり、パソコンなどで保存したムービー
	しおり	しおり再生
	再生履歴	ムービーの再生履歴
iモードで探す		データサイトに接続
microSD	SDビデオ	カメラで撮影した動画やFOMA端末からコピーしたiモーション
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるiモーション
	その他コンテンツ	カメラ機能を使って記録した音声のみのiモーション※4、FOMA端末からコピーした音声のみのiモーション※4、FOMA端末からコピーした映像が再生不可能なiモーション※4
メロディ		
iモード		ダウンロードした着信音に設定できるメロディなど
	iモードで探す	データサイトに接続

プリインストール		お買い上げ時に登録されている着信音に設定できるメロディ
ユーザフォルダ※3		ユーザフォルダ内の着信音に設定できるメロディ
おしゃべり		「おしゃべり機能」で録音したデータ
プログラム		プログラム再生
iモードで探す		データサイトに接続
microSD	メロディ	FOMA端末からコピーしたメロディ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるメロディ
マイドキュメント		
iモード		お買い上げ時に登録されているPDFデータやダウンロードしたPDFデータ
microSD	マイドキュメント	ダウンロードしたPDFデータやFOMA端末からコピーしたPDFデータ
	移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動した著作権のあるPDFデータ
きせかえツール		
お買い上げ時に登録されているきせかえツールやダウンロードしたきせかえツール		
iモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたきせかえツールやFOMA端末から移動したきせかえツール
マチキャラ		
お買い上げ時に登録されているマチキャラやダウンロードしたマチキャラ		
iモードで探す		データサイトに接続
microSD		ダウンロードしたマチキャラやFOMA端末から移動したマチキャラ
キャラ電		
お買い上げ時に登録されているキャラ電やダウンロードしたキャラ電		
ワンセグ		
イメージ		ワンセグで録画した静止画
ビデオ		ワンセグで録画したビデオや、他のAV機器で作成したワンセグ対応の著作権保護対応動画
しおり		しおり再生
ドキュメントビューア		
メール(添付ファイル)から保存したドキュメントファイル		
フォント		
iモード		ダウンロードしたフォント
プリインストール		お買い上げ時に登録されているフォント

SDその他ファイル	
SDその他	メール(添付ファイル)から保存した非対応のファイルやダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイル

※1 「フォルダ名編集」を行うと、フォルダ名が変更されます。また、デコメ絵文字®はフォルダに直接保存され、フォルダにはデコメ絵文字®以外は保存できません。

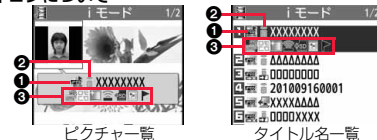
※2 初めて「自動お預かり」フォルダを選択した場合、フォルダの説明とケータイデータお預かりサービスについての確認画面が表示されます。

※3 「フォルダ追加」で入力したフォルダ名が表示されます。

※4 AAC形式の音楽データを含みます。

■ファイル一覧表示中のアイコンについて

ピクチャー一覧

タイトル名一覧

❶ファイル種別

アイコン	種別	ファイル形式
	静止画	JPEG
	位置情報付き静止画	JPEG
	静止画／アニメーション画像	GIF
	フレーム	GIF
	マーカースタンプ	GIF
	Flash	SWF
	iモーション	MP4(AMR)
	iモーション	MP4(AAC)
	iモーション	MP4(AAC+[HE-AAC])
	iモーション	MP4(Enhanced aacPlus)
	iモーション	ASF
	ムービー	WMV、ASF
	インターネット上のムービー	WVX、ASX
	ムービー	WMA

つづく

アイコン	種別	ファイル形式
	インターネット上のムービー	WAX
	視聴済み「BD／DVDレコーダー」フォルダ内動画	MP4
	未視聴「BD／DVDレコーダー」フォルダ内動画	MP4
	ビデオ	MPEG2-TS
	他の機器でプロテクトがかけられたビデオ	MPEG2-TS
	視聴済みビデオ	MPEG2-TS
※	未視聴ビデオ	MPEG2-TS
	部分保存されているｉモーション	―
	メロディ	SMF
	メロディ	MFi
	完全なPDFデータ	PDF
	部分的なPDFデータ	PDF
	不完全なPDFデータ	PDF
	壊れているPDFデータ	PDF
	きせかえツール	―
	部分保存されているきせかえツール	―
	マチキャラ	―
	部分保存されているマチキャラ	―
	キャラ電	―
	Wordファイル	WORD
	Excelファイル	EXCEL
	PowerPointファイル	POWERPOINT
	非対応ファイル	―
	フォント	MTF

※本FOMA端末以外で録画した場合は、視聴済みビデオアイコンが表示されることがあります。

- ファイル制限が設定されているファイルの場合、アイコンに「 」が付きます。
- ファイルによっては、再生できる回数･期限･期間が制限されているものがあります。再生制限のあるファイルのアイコンには「 」、再生制限切れのファイルのアイコンには「 」が付きます。

❷取得元

アイコン	説明
※1	サイトやｉモードメール添付などから取得
	FOMA端末で撮影、ボイスレコーダーで録音
	赤外線通信やiC通信、microSDカードなどから取得
	キャラ電撮影
	ワンセグで静止画録画
※2	ｉモードで再生したインターネット上のムービー
※2	フルブラウザで再生したインターネット上のムービー
※2	microSDカードに保存したムービー

※1 著作権のあるファイルでmicroSDカードに移動可の場合は「 」が表示されます。

※2 「ムービー」フォルダの「しおり」内と「再生履歴」内でのみ表示されます。

❸ファイルの状態

アイコン	説明
	ｉモードメール添付が可能
	デコメール®に画像挿入や、デコメアニメ®作成が可能
	ピクチャ貼付が可能
	赤外線送信やiC送信が可能
	microSDカードへコピー可能
	アップロードが可能
	位置情報を利用可能
※	お預かりセンターへの自動保存が完了
※	お預かりセンターへの自動保存対象外

※「マイピクチャ」内の「自動お預かり」フォルダ内でのみ表示されます。

<ピクチャビューア>

画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存した静止画を表示します。ヨコオープンスタイルでは横画面で表示します。表示中にスタイルを切り替えることもできます。

1 MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶フォルダを選択▶ファイルを選択

- フォルダ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.395参照。

フォルダ一覧画面

静止画一覧画面

- 静止画一覧画面で📷TV(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。 (NG)
- 他の機能でフォルダや静止画を選択するときは、機能によって表示されないフォルダや静止画があります。また、静止画を選択中に✉(デモ)を押して静止画を確認できる場合があります。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.205参照。

ワンセグで録画した静止画を表示する場合

1 MENU▶データBOX▶ワンセグ▶イメージ▶ファイルを選択

■静止画再生時の操作

操作	ボタン操作
次のファイルを表示※1	○(右)
前のファイルを表示※1	○(左)
ズーム(拡大/縮小)※2※3	●(ズーム)※4 ●ズーム中に🔢(＋)/✉(－)で拡大/縮小 ●拡大中に○でスクロール ●元に戻すには●(戻る)
表示方向切替※2※5	MENU(回転) ●押すごとに静止画を時計回りに90度ずつ回転
アイコン表示※6	MENU(アイコン) ●押すごとにアイコン、ナビゲーションの表示/非表示を切り替え ●ヨコオープンスタイル時に操作できます。

※1 静止画一覧画面の並び順で表示します。
※2 画像サイズやファイル形式によっては操作できない場合があります。
※3 400%まで拡大できます。ただし、拡大できる倍率は画像サイズにより異なります。
※4 Flash画像再生中は、一時停止/再生の操作になります。
※5「iモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、microSDカードのフォルダ、「ワンセグ」の「イメージ」フォルダ内の静止画のみ操作できます。
※6 アイコンを表示しない設定にしていても、通信中やメール、メッセージR/Fを受信した場合は、「」「」「R」「F」などのアイコンが表示されます。

つづく

■静止画再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1、GIF、Flash
拡張子	jpg、gif、swf、ifm
画素数	13M(3120×4160)以下のファイル※2
ファイルサイズ	8Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 Progressive形式のファイルの場合はVGA(480×640)以下、GIFファイルの場合は5M(1944×2592)以下のファイルまで表示できます。

- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。
- Flash画像は、「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「ステップ」に設定されているときは「レベル2」で音が鳴ります。

静止画一覧画面の機能メニュー

メール添付／ブログ投稿		
	iモードメール添付	P.142手順2へ進みます。 ●[メール]( )を押してもiモードメールを作成できます。
	デコメ作成	「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダからデコメール®を作成します。 P.142手順2へ進みます。 ●デコメール®についてはP.145参照。
	ブログ投稿	P.207「登録したサイトにファイルをアップロードする」手順2へ進みます。

ピクチャ貼付		画像を待受画面などに貼り付けて表示します。貼り付ける画像の位置については「貼付表示位置」参照。 ▶**貼付先を選択** ●それぞれの貼付先を選択したときの操作についてはP.105参照。 ●貼付された項目には「★」マークが付きます。「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連の項目には、すでに貼付されていても表示されません。 ●「テレビ電話発信」「テレビ電話着信」以外のテレビ電話関連項目を選択した場合、状態に応じたメッセージが静止画の中央に表示されます。
ピクチャ情報		静止画のファイル名などを表示します。 ●自作アニメのピクチャ情報では、ピクチャ貼付の項目のみ表示されます。
フォルダ移動		
	1件移動	静止画・iモーション・ムービー・メロディ・PDFデータ・ドキュメントファイル・きせかえツール・マチキャラ・SDその他ファイルを別のフォルダに移動します。 ▶**移動先を選択** ●第2階層目以降にフォルダがある場合は、[メール]( )を押すと表示できます。上の階層に戻すには[CLR]を押します。
	選択移動	▶**移動したいファイルにチェック**▶[メール](完了) ▶**移動先を選択**
	全件移動	▶**移動先を選択**
本体へ移動		P.388参照
microSDへ移動		P.388参照
microSDへコピー		
	1件コピー	P.386参照
	選択コピー	P.386参照
	全件コピー	P.386参照

データ管理

お預かりセンターに保存		P.135参照
コピー		
	1件コピー	microSDカード内の静止画･ｉモーション･ムービー･メロディ･PDFデータ･ドキュメントファイル･SDその他ファイルをmicroSDカード内の別のフォルダにコピーします。 ▶**コピー先を選択**
	選択コピー	▶**コピーしたいファイルにチェック**▶[✉](完了) ▶**コピー先を選択**
	全件コピー	▶**コピー先を選択**
本体へコピー		
	1件コピー	P.387参照
	選択コピー	P.387参照
	全件コピー	P.387参照
編集		
	ピクチャ編集	P.357参照
	タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●FOMA端末内のファイルの場合、全角9文字/半角18文字まで入力できます。 ●microSDカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
	ファイル名編集	▶**ファイル名を入力** ●半角英数字、記号(｢.｣、｢-｣、｢_｣のみ)で36文字まで入力できます。
	お預かり済アイコンクリア	｢自動お預かり｣フォルダ内の静止画に表示されている｢[アイコン]｣を一括で消去します。 ▶YES
位置情報		
	位置情報付加	P.344参照
	位置情報削除	画像に登録済みの位置情報を削除します。 ▶YES
	位置情報詳細	位置情報の詳細を確認できます。 ●詳細を表示中に[iα](機能)を押すと、位置情報の機能メニューが表示されます。(P.335参照)
ファイル制限		ファイル制限を｢あり｣にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶**なし･あり**
ソート		表示される順番を変更します。 ▶**順番を選択** ●microSDカード内のファイルはソートできません。
スライドショー		フォルダ内の静止画を選択している静止画から順にすべて表示していきます。静止画が切り替わる速度を選択できます。 ▶**標準･スロー** [●](停止)を押すとスライドショーが停止します。再度[●](再開)を押すとスライドショーが再開します。
貼付表示位置		静止画を待受画面などに貼り付けて表示するときの位置を設定します。 ピクチャ貼付についてはP.350参照。 ▶**表示位置を選択**
デスクトップ貼付		P.33参照
赤外線送信		
	1件送信	P.399参照
	選択送信	P.399参照
iC送信		P.401参照
DPOF設定		P.409参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
削除		
	1件削除	▶YES

つづく↳

	選択削除	▶削除したいファイルにチェック▶✉(完了) ▶YES
	全削除	フォルダ内に保存しているすべてのファイルを削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

＜ｉモードメール添付＞＜ブログ投稿＞

- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG画像(Progressive形式のファイルを除く)の場合は、2Mバイト以下に変換します。
- 画像によってはｉモードメール作成できない場合があります。

＜デコメ作成＞

- 画像サイズがSub-QCIF(96×128)より大きいときは、画像サイズの変更方法を選択する画面が表示されます。変更した静止画は別ファイルとして新規保存されます。
  「そのまま添付」を選択すると画像サイズは変更しません。
  「Sub-QCIF縮小添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(96×128)以下に縮小します。
  「Sub-QCIF切出し添付」を選択すると縦横比を保ったままSub-QCIF(96×128)以下に縮小･切り出しします。
  ファイルサイズがデコメール®作成可能サイズを超える場合は、デコメール®作成可能サイズ以下に変換します。
- Sub-QCIF(96×128)に縮小または切り出しした場合、✉(取消)を押すかｉα(機能)を押して「取消」を選択すると再度縮小･切り出しを設定できます。また、ｉα(機能)を押して「確定」を選択するとｉモードメール作成画面が表示されます。
- 画像によってはデコメール®作成できない場合があります。

＜ピクチャ貼付＞

- Flash画像は待受画面、ウェイクアップ表示、音声電話／テレビ電話の発着信画面、メールの送受信画面、問い合わせ、メール／メッセージ着信結果以外には貼り付けできません。
- アニメーションGIF形式の画像はテレビ電話の発着信画面以外のテレビ電話関連項目には貼り付けできません。
- 画像サイズや貼付先によっては、表示される大きさが実際のものと違う場合があります。
- ファイルによってはピクチャ貼付できない場合があります。

お知らせ

＜フォルダ移動＞

- 複数のファイルを移動中に着信があった場合、移動は途中でも中止されます。
- ムービー、ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルを「選択移動」する場合は、最大100件まで選択できます。

＜タイトル編集＞

- ファイルによってはタイトル編集できない場合があります。
- 「フレーム／スタンプ」フォルダ、「ワンセグ」の「イメージ」フォルダ、microSDカードの「デコメ絵文字」フォルダでは、「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

＜ファイル名編集＞

- ファイルによってはファイル名編集できない場合があります。
- ファイル名に半角スペースは使用できません。
- 「ワンセグ」の「イメージ」フォルダでは、「編集」メニューは表示されずに「ファイル名編集」を選択する操作となります。

＜コピー＞

- 複数のファイルをコピー中に着信があった場合、コピーは途中でも中止されます。
- ムービー、ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルを「選択コピー」する場合は、最大100件まで選択できます。

＜ファイル制限＞

- ファイルによってはファイル制限を設定できない場合があります。
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

＜スライドショー＞

- Flash画像は表示されません。
- 画像によっては表示される間隔が異なる場合があります。

＜削除＞

- 複数のファイルを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。
- ムービー、ビデオ、ドキュメントファイル、SDその他ファイルを「選択削除」する場合は、最大100件まで選択できます。

静止画再生中の機能メニュー

ピクチャ編集	P.357参照
ピクチャ貼付	P.350参照
ピクチャ情報	P.350参照
位置情報	
位置情報付加	P.344参照
位置情報削除	P.351参照
位置情報詳細	P.351参照
メール添付／ブログ投稿	
iモードメール添付	P.350参照
デコメ作成	P.350参照
ブログ投稿	P.350参照
赤外線送信	P.399参照
iC送信	P.401参照
表示サイズ設定	静止画を本来のサイズ(等倍)で表示するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶標準・画面サイズで表示 ●「標準」に設定しても、画面サイズを超える静止画は画面サイズに縮小されます。また、QCIF(144×176)以下の静止画は、縦横2倍のサイズで表示されます。
デスクトップ貼付	P.33参照
microSDへコピー	P.386参照
お預かりセンターに保存	P.135参照
本体へコピー	P.387参照
貼付表示位置	P.351参照
DPOF設定	P.409参照
削除	P.351「1件削除」参照
リトライ	アニメーション、Flash画像を最初から再生します。

お知らせ

<表示サイズ設定>
- 「画面サイズで表示」に設定中にアニメーションGIFを表示した場合、「標準」での表示時よりアニメーションの動作が遅くなる場合があります。

<ピクチャアルバム>
ピクチャアルバムで画像を表示する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したJPEG形式の静止画を表示できます。ヨコオープンスタイルでは横画面で表示します。表示中にスタイルを切り替えることもできます。
再生中の静止画から人物の顔を検出して拡大したり、検出した顔に補正効果をかけることもできます。また、エフェクト機能を利用して表現力豊かなスライドショーを再生できます。

1 MENU▶データBOX▶マイピクチャ▶ピクチャアルバム

ピクチャアルバムが起動して、フォルダの一覧画面が表示されます。
- 待受画面で[ボタン]を押してもピクチャアルバムを起動できます。カメラ(デジカメモード)の「保存先設定」で設定されているフォルダ内の静止画の一覧が表示されます。
- ピクチャアルバム起動中は[メール](ｶﾞｲﾄﾞ)を押すと、ボタン操作ガイドを表示します。

データ管理

つづく

2 フォルダを選択▶ファイルを選択

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

NG画像

GIF画像

Flash画像

- 静止画再生中に[O]を押すと、静止画の一覧画面の並び順で静止画を切り替えます。
- 再生中の静止画で人物の顔を検出できる場合は、[✉]（顔ズーム）を押すと検出した顔をズーム表示します。複数の顔を検出した場合は、[✉]（顔ズーム）を押すごとに別の顔をズーム表示します。
- 画面の右下に「アイコン」が表示されているときは、[📷TV]（アイコン）を押すごとにアイコンの表示／非表示を切り替えます。

■ピクチャアルバムでの再生の仕様について

ファイル形式	JPEG※1
拡張子	jpg
画素数	13M（3120×4160）以下のファイル※2
ファイルサイズ	8Mバイト以下の静止画

※1 再生できるJPEGファイルの種類は、Exif／CIFF／JFIF形式のBaselineとProgressiveです。
※2 上記を超える画素数でも再生できる場合があります。
- 対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

お知らせ

- ピクチャアルバムでは、「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、「ピクチャ」フォルダ（microSD）内の静止画のみ表示できます。
- 静止画によっては、顔を検出できない場合や顔ではない場所を検出する場合があります。また、顔ズーム機能とビューティプラスでは検出する顔が異なる場合があります。

ピクチャアルバム起動中の機能メニュー

- ピクチャアルバム起動中は[iα]（機能）を押すと、機能メニューが表示されます。

機能	説明
スライドショー	P.356参照
きせかえ	ピクチャアルバムのデザインを変更します。 ▶パターン1・パターン2
ピクチャ分類	カメラのデジカメモードで撮影した静止画を、選択した項目に従って分類表示します。 ▶項目を選択 **日付時刻**……静止画の撮影日時の情報をもとに、フォルダに分けて表示します。 **シーン**……静止画の内容をもとに、シーンの一覧に分類して表示します。 **色**……静止画の内容をもとに、色の一覧に分類して表示します。 **オートシャッター**……静止画撮影時のオートシャッター利用情報をもとに、撮影方法の一覧を表示します。 ▶条件を選択 条件にあった静止画のみを一覧表示します。 ●情報は静止画を撮影した際に付与され、変更できません。また、情報がない静止画は表示されません。 ●「日付時刻」の場合、日付ごとに最大12枚まで表示されます。同じ日付で12枚を超えた場合は、時刻に基づき分類して表示します。 ●「シーン」の場合、静止画の内容によっては複数のシーンで表示される場合があります。 ●[CLR]を押すと分類を行う1つ前の画面に戻ります。 ●[📷TV]（分類解除）を押すと分類状態を解除して、すべての静止画を表示します。

ズーム	静止画を200%に拡大して表示します。 ●静止画再生中に●(ズーム)を押しても200%に拡大して表示します。 ●⊛、#を押すと、ズーム倍率を調節できます。 ●拡大した静止画をスクロールするには◎を押します。 ●ズーム中に●(戻る)またはCLRを押すと、ズームを解除します。
回転	静止画を時計回りに90度回転します。
メール添付	P.350「ｉモードメール添付」参照
ブログ投稿	P.350参照
エフェクト	静止画再生中にファイルを切り替えたときの画面表示を設定します。 ▶**項目を選択**
削除	P.351「1件削除」参照
ピクチャ編集	
超解像	
等倍補正	画像サイズがQCIF(144×176)から3M(1536×2048)までの静止画を、画像サイズはそのままでより高画質になるように補正します。 ▶✉(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●●(比較)を押すと、元の静止画を表示できます。●(戻る)またはCLRを押すと戻ります。 ●MENU(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。
待受拡大	画像サイズがQCIF(144×176)以上VGA(480×640)未満の静止画を、画質を落とさずに縦横比を保ったまま画像サイズを待受(480×854)を超えない大きさにまで拡大します。 ▶✉(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●MENU(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。
プリント拡大	画像サイズがVGA(480×640)以上2M(1200×1600)未満の静止画を、高画質でプリントできるように画質を落とさずに縦横比を保ったまま画像サイズを1200×1920ドットを超えない大きさにまで拡大します。 ▶✉(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●MENU(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。
暗部補正	暗く写った静止画を、より明るく鮮明な静止画になるように補正します。画像サイズがQCIF(144×176)から13M(3120×4160)までの静止画を編集できますが、3M(1536×2048)より大きい静止画は3M(1536×2048)以下に縮小されます。 ▶✉(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●MENU(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。
ビューティプラス	再生中の静止画で人物の顔を検出できる場合、検出した顔の目を大きくしたり、美肌や美白などの補正を行います。画像サイズが13M(3120×4160)までの静止画を編集できますが、待受(480×854)より大きい静止画は待受(480×854)以下に縮小されます。 ▶**補正したい顔を選択** 選択した顔に補正が行われます。 ●複数の顔を検出している場合は、iα(次の顔)を押すと次に補正する顔を選択できます。 ●●(比較)を押すと、元の静止画を表示できます。●(戻る)またはCLRを押すと戻ります。 ▶✉(保存)▶OK 元の静止画とは別の静止画として保存します。 ●MENU(ｷｬﾝｾﾙ)またはCLRを押すと、保存せずに終了します。⌒を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。

つづく↪

お知らせ

<ピクチャ分類>
- 「microSDへコピー」や「本体へコピー」でコピーした静止画は分類できません。
- 保存されている静止画の枚数によっては、分類に時間がかかる場合があります。また、分類した結果、すべての静止画が分類されないこともあります。
- 分類後にピクチャ編集を行う場合は、分類を解除するかどうかの確認画面が表示されます。また、ピクチャ編集を行った静止画は、分類できません。
- 分類の結果は、実際に撮影した時刻や、静止画の内容とは異なる場合があります。

<ピクチャ編集>
- 表示方向を切り替えた静止画を再生中に「ピクチャ編集」を行うと、元の表示方向に戻ります。
  ただし、表示方向を切り替えていた場合のほうが、大きく表示できる場合はそのままの表示方向で表示されます。表示方向を切り替えたまま編集し、保存した場合でも、静止画の縦横情報は変更されません。

<ズーム>
- 100%未満に縮小して表示することはできません。

スライドショーを再生する

すべてのフォルダ内の静止画を表示する場合

1 Oを1秒以上押す

「iモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、「ピクチャ」フォルダ（microSD）内の静止画のスライドショーが再生されます。
- フォルダの一覧画面でiα（機能）を押して「スライドショー」を選択しても、すべてのフォルダ内の静止画を表示できます。
- フォルダセキュリティを設定しているフォルダ内の静止画は表示されません。

1つのフォルダ内の静止画を表示する場合

1 ファイルの一覧画面・静止画再生中▶iα（機能）▶スライドショー

お知らせ

- 電池残量が少ない状態でスライドショーを再生しようとした場合は、「ボタン確認音」の設定に関わらず電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、再生するかどうかの確認画面が表示されます。

スライドショー一時停止中の機能メニュー

- スライドショー再生中にO（ll）を押すと、スライドショーが一時停止し、機能メニューが表示されます。再生を再開するには「▶」を選択します。

◀ll		前のファイルを表示します。 ●スライドショー再生中や一時停止中にOを押しても前のファイルを表示できます。 ●「ランダム」が「ON」の場合は、並べ替えられた順番で表示します。 ●前のファイルが表示中の静止画と違うフォルダ内の静止画の場合は、前のファイルを表示できません。
▶		スライドショーを再開します。
ll▶		次のファイルを表示します。 ●スライドショー再生中や一時停止中にOを押しても次のファイルを表示できます。 ●「ランダム」が「ON」の場合は、並べ替えられた順番で表示します。
設定		
	再生時間	スライドショー再生中に静止画が切り替わる時間を設定します。 ▶**時間を選択**
	エフェクト	静止画が切り替わるときの画面表示を設定します。 ▶**項目を選択** ●本機能の設定に関わらず、別のフォルダ内の静止画を表示するときや、「リピート」でスライドショーを再開するときは、「Normal」のエフェクトになります。

	顔ズーム	スライドショー再生中の静止画に顔を検出したときに、顔にズームするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	ランダム	スライドショーの再生順をランダムにするかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	リピート	スライドショーが終了後に再びスライドショーを開始するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
終了		スライドショーを終了します。

<ピクチャ編集>

静止画を編集する

1 **静止画一覧画面▶[iα]（機能）▶編集▶ピクチャ編集**

または

静止画再生中▶[iα]（機能）▶ピクチャ編集

● 待受（480×854）より大きい静止画の場合、待受（480×854）以下に縮小されます。

ピクチャ編集画面

2 **[iα]（機能）▶静止画を編集**

操作方法についてはP.358〜P.359をご覧ください。

3 **[●]（保存）▶YES・NO**

YES. . . . . 上書きして保存します。

NO . . . . 新しい静止画として保存します。

● microSDカード内の静止画を編集した場合は上書き保存できません。[●]（保存）を押すと変更元のファイルが保存されているフォルダに保存されます。microSDカード内のデータがいっぱいの場合など、microSDカードに保存できないときは「ｉモード」フォルダに保存されます。

● 編集した静止画を保存しない場合は、[CLR]または[終話]を押して「YES」を選択します。

● 保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。

お知らせ

● カメラで撮影した静止画やデータ通信で取得した静止画、ダウンロードもしくはｉモードメールから取得した静止画で「ファイル制限」がなしのJPEGファイルのみピクチャ編集できます。

● 表示方向を切り替えた静止画を再生中に「ピクチャ編集」を選択すると、元の表示方向に戻ります。

● 静止画によってはピクチャ編集できなかったり、編集の効果が現れにくいものがあります。

● 画像編集を繰り返し行うと、画質が劣化したり、ファイルサイズが大きくなることがあります。

● 静止画によってはサイズ変更をするとピクチャ編集ができなくなる場合があります。

● 新規保存された静止画のファイル名、タイトル、保存先、取得元については以下のとおりです。

・ファイル名：YYYYMMDDhhmmnnnn
　タイトル：YYYY/MM/DD hh:mm
　（Y：西暦、M：月、D：日、h：時、m：分、n：番号）
・保存先：変更元のファイルが保存されているフォルダ
・取得元：変更元と同じ

ピクチャ編集画面の機能メニュー

マーカースタンプ	「フレーム／スタンプ」フォルダのマーカースタンプを合成します。 ▶**マーカースタンプを選択** ●編集中の静止画より小さいサイズのマーカースタンプのみ合成できます。 ●i α(機能)を押して「右90度／左90度／180度」を選択すると、マーカースタンプを回転できます。「拡大／縮小」を選択すると、マーカースタンプを拡大･縮小できます。 ●✉(取消)を押すとマーカースタンプを選択し直せます。 ▶**◎で位置を決めて●(配置)** ●✉(追加)を押すとマーカースタンプを追加できます。 ▶●(確定)
フレーム合成	▶**フレームを選択**▶●(確定) ●編集中の静止画と同じサイズのフレームのみ合成できます。 ●◎を押すと、前または次のフレームを表示します。◎を1秒以上押すと、連続して表示されます。 ●i α(機能)を押して「180度回転」を選択すると、フレームを回転できます。 ●✉(取消)を押すとフレームを選択し直せます。
文字スタンプ	文字を合成します。 ▶**文字を入力** 全角15文字/半角30文字まで入力できます。ただし、静止画のサイズによっては入力できる文字数は少なくなります。 ●i α(機能)を押して「文字色」を選択し、色を選択すると、文字の色を変更できます。📷TV(切替)を押して16色･256色を切り替えることができます。 「フォント」を選択すると、文字のフォント(書体)を変更できます。 「文字サイズ」を選択すると、文字を拡大･縮小できます。「文字入力」を選択すると、入力した文字を編集できます。 ▶**◎で位置を決めて●(配置)**▶●(確定) ●✉(取消)を押すと配置する位置を選択し直せます。
待受サイズ変換	画像サイズを待受(480×854)に変換します。 ▶**YES**▶●(確定)
サイズ変更	▶**変更したい画像サイズを選択** ●元の静止画と縦横比が異なるサイズを選択した場合は、元の静止画の縦横比を保ったまま、選択したサイズを超えない大きさに拡大／縮小します。 ▶●(確定) ●✉(取消)を押すとサイズを選択し直せます。

トリミング	一定の大きさに切り出します。 **▶切り出したい画像サイズを選択** ●編集中の静止画より大きいサイズは選択できません。 ●トリミングする静止画が、待受(480×854)より大きい場合は、編集中の静止画やトリミングする枠が縮小して表示されます。 **▶[方向キー]でトリミングする部分を決めて[●](確定)** ●[✉](取消)を押すとトリミングするサイズを選択し直せます。 ▶[●](確定) ●[✉](取消)を押すとトリミングする部分を選択し直せます。
フォトレタッチ	静止画の質感や色合いなどを設定します。 **▶項目を選択** **シャープ**……輪郭を強調します。 **ソフト**……輪郭をぼかします。 **セピア**……色調をセピアにします。 **浮き彫り**……でこぼこの質感にします。 **ネガ**……色調を反転します。 **ミラー**……左右を反転します。 **スーパークリアシャドウ** ……暗い静止画を見やすくします。 **記憶色補正**……色やコントラストを補正します。 ▶[●](確定) ●[✉](取消)を押すと効果を選択し直せます。
回転	**▶右90度・左90度・180度▶**[●](確定) ●[✉](取消)を押すと角度を選択し直せます。
明るさ	−3(暗い)から＋3(明るい)で調節します。 **▶明るさを選択**
メール添付／ブログ投稿	
iモードメール添付	編集した静止画を保存し、iモードメールに添付します。 ▶[●](確定) P.142手順2へ進みます。
ブログ投稿	編集した静止画を保存し、ブログに投稿します。 ▶[●](確定) P.207「登録したサイトにファイルをアップロードする」手順2へ進みます。
保存	P.357参照

お知らせ

<マーカースタンプ>

●編集する静止画より大きく拡大できません。

<文字スタンプ>

●24×24ドットより小さい静止画は編集できません。

●編集する画像によっては文字色との合成ができない色があります。その場合には別の色を選択してください。

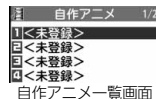
<自作アニメ>

アニメを作成する

「iモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ内の待受(480×854)以下のJPEGファイルを最大20件(20コマ)選択し、アニメ再生できます。自作アニメは20件登録できます。

1 [MENU]▶データBOX▶マイピクチャ▶自作アニメ▶<未登録>

●設定済みの自作アニメを変更する場合は、機能メニューから「自作アニメ設定」を選択します。

自作アニメ 1/2
1<未登録>
2<未登録>
3<未登録>
4<未登録>

自作アニメ一覧画面

2 コマ順<1コマ目>〜<20コマ目>を選択▶フォルダを選択▶静止画を選択

●登録済みの静止画を解除する場合は「ピクチャ解除」を選択します。

つづく

3 手順2を繰り返す▶[メール]（完了）

自作アニメ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角9文字/半角18文字まで入力できます。
自作アニメ設定	P.359手順2へ進みます。
ピクチャ表示	自作アニメを再生します。
ピクチャ貼付	P.350参照
ピクチャ情報	P.350参照
自作アニメ解除	▶YES

自作アニメ再生中の機能メニュー

ピクチャ貼付	P.350参照
表示サイズ設定	P.353参照
リトライ	再度自作アニメを再生します。

お知らせ

●自作アニメに設定している静止画を削除すると、その静止画を含む自作アニメは解除されます。

<ｉモーションプレーヤー><ムービープレーヤー>

ｉモーション・ムービーを再生する

FOMA端末内またはmicroSDカード内に保存したｉモーションや、インターネット上で公開されているパソコン向けの動画（ムービー）を再生します。

ヨコオープンスタイルでは横画面で再生します。再生中にスタイルを切り替えることもできます。

●ステレオイヤホンマイク（別売）を接続してステレオサウンドでｉモーション、ムービーの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。（P.444参照）

1 [MENU]▶データBOX▶ｉモーション／ムービー▶フォルダを選択▶ファイルを選択

●フォルダ一覧画面で[MENU]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。

●フォルダ一覧画面の機能メニューはP.395参照。

●ｉモーション一覧画面、ムービー一覧画面で[カメラ/TV]（切替）を押すごとに表示方法を変更します。

フォルダ一覧画面

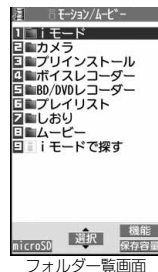
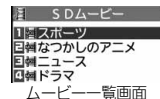
ｉモーション一覧画面

●他の機能でフォルダやｉモーションを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやｉモーションがあります。また、ｉモーションを選択中に[メール]（デモ）を押してｉモーションを確認できる場合があります。

ムービー一覧画面

●ｉモーションによっては、設定されているチャプターを選択して再生できる場合があります。（P.365参照）

●「BD／DVDレコーダー」フォルダについてはP.367参照。

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.205参照。

●ムービー再生中･一時停止中･停止中に[動画]を1秒以上押すか[終話]を押すとムービープレーヤーが終了します。取得しながらの再生中でも終了します。
●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

再生制限期限切れなど※1

ダウンロード未完了※2

※1 ムービー一覧画面の場合、再生不可の画像が表示されます。
※2 ムービー一覧画面の場合、プレビュー画像が表示されます。

■ i モーション･ムービー再生時の操作

●機能メニューから操作する場合はP.365参照。

操作	ボタン操作
早見再生 [i モーションのみ]	[メール]([早見])(P.365参照)
早送り [ムービーのみ]	[メール]([早送り]) ●再生するには[メール]([▶])
消音／消音解除	[マナー]
一時停止	[●]([Ⅱ])または[動画] ●再生するには[●]([▶])または[動画]
コマ送り再生 [i モーションのみ]	一時停止中に[メール]([ｺﾏ送]) ●押すごとにコマ送り
音量調節	[上下]または[▲][▼]
次のファイルまたはチャプターを表示※1	[右]
前のファイルまたはチャプターを表示※1	[左] ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し(チャプターがある場合はチャプターの頭出し)
サーチ(早送り) [i モーションのみ]	[右]を押し続ける
サーチ(早戻し) [i モーションのみ]	[左]を押し続ける
再生位置選択※2 [ムービーのみ]	[左右]を押し続ける
縦画面／横画面／全画面切替	[カメラTV]([横画面]) ●押すごとに表示方法を切り替え ●ノーマルスタイル時に操作できます。
アイコン表示※3	[MENU]([ｱｲｺﾝ]) ●押すごとに「アイコン、ナビゲーションの表示」→「アイコン、ナビゲーションの非表示」→「全画面表示」の順に切り替え ●ヨコオープンスタイル時に操作できます。
リ.マスター設定	[9] ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え
リスニング設定	[8] ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	[7] ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「トレイン」の順に切り替え

※1 チャプターがない i モーションや、ムービーを i モーション一覧画面･ムービー一覧画面の並び順で切り替えます。一覧画面から再生した場合のみ操作できます。ただし、ファイル形式がWVX、ASX、WAXのムービーはスキップされます。また、チャプターがある i モーションはチャプターの登録されている順でチャプターを切り替えます。
※2 早戻し中は操作できません。
※3 アイコンを表示しない設定にしていても、通信中やメール、メッセージR/Fを受信した場合は、「[通信]」「[メール]」「[R]」「[F]」などのアイコンが表示されます。
●状況によっては実行できない操作もあります。
●ムービーの一時停止中に横画面再生を行うと、画面表示が暗くなる場合がありますが、再生を再開してしばらくすると映像が表示されます。

データ管理

つづく↓

ムービー再生時、一時停止時にイヤホンマイク(別売)のスイッチを使って下記の操作ができます。

操作	スイッチ操作
一時停止	1回押す ●再生するには再度1回押す
次のファイルを再生	連続2回押す
前のファイルを再生	連続3回押す ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し

■ｉモーション再生の仕様について

ファイル形式	MP4、ASF	
符号化方式	MP4ファイル	映像：MPEG4、H.263、H.264 音声：AMR、AAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlus
	ASFファイル	映像：MPEG4 音声：G.726
画素数	MPEG4：VGA(640×480)以下のファイル	
	H.263：Sub-QCIF(128×96)、QCIF(176×144)のファイルのみ	
	H.264：QVGA(320×240)以下のファイル	
拡張子	sdv、3gp、mp4、asf	

●対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■ムービー再生の仕様について

ファイル形式	WMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX		
拡張子	wmv、wma、wvx、wax、asf、asx		
コーデック	ビデオ	Windows® Media Video 8～9※	
	オーディオ	Windows® Media Audio 2～9	
ビットレート	映像	WMV8	768kbps
		WMV9	2Mbps
	音声		384kbps
ビデオサイズ	WMV8	CIF(352×288)以下のファイル	
	WMV9	ワイドVGA(800×480)以下のファイル	
フレームレート	30fps		

※ Windows Media Video 9の複合プロファイル(complex profile)には対応していません。

●上記を超えるビットレートでも再生できる場合があります。

●対応しているファイル形式であっても、ファイルによってはデータの取得、取得中の再生、取得後の再生ができないことがあります。

●映像と音声どちらか一方が対応していないファイル形式であった場合、対応しているもう一方のみで再生を行う場合があります。

フォルダ一覧画面で「ｉモーション」または「ムービー」の「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。ｉモーションの場合は「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択できます。ムービーの場合は「復旧しおり」または「しおり1～9」を選択できます。しおりを選択すると、登録していた箇所からｉモーション･ムービーが再生されます。

復旧しおり	ｉモーション･ムービー再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるとき、再生中にムービープレーヤーを終了したときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり･しおり	あらかじめｉモーション･ムービーの任意の場面に登録しておくもので、ｉモーションの場合は2つまで、ムービーの場合は9つまで作成できます。(P.364、P.366参照)

●「しおり」の情報を表示するには（機能）を押して「しおり情報」を選択します。
●「指定しおり」「しおり」を削除するには（機能）を押して「削除」を選択します。「しおり」の場合は「削除」を選択してから、「1件削除」「選択削除」「全削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
●「指定しおり」「しおり」を登録したｉモーション･ムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合、ムービーのファイル名を変更していた場合は再生できません。
●しおりから再生した場合でも、ムービーによっては、冒頭からの再生となる場合があります。

フォルダ一覧画面で「再生履歴」を選択したときは

ムービーを再生すると、ファイルのURLまたは保存場所が履歴として記憶されます。30件まで記憶され、これを超えると一番古い履歴に上書きされます。再生履歴を選択すると記憶された履歴情報に基づきムービーが再生されます。

再生履歴一覧画面

●再生履歴に記憶されたムービーを削除していた場合や他のフォルダに移動した場合は再生できません。
●取得したムービーを未保存状態のままデータ取得完了の画面から再生した場合は、再生履歴に記憶されません。

お知らせ

●サーチ（早送り･早戻し）やコマ送り再生中は無音となります。サーチ（早送り･早戻し）は、ｉモーションを一時停止･再生中（スロー再生･早見再生も含む）に実行できます。
●ｉモーションの再生中にメールやメッセージR/Fなどを受信した場合、映像や音声が途切れることがあります。
●wvx、wax、asxの拡張子を持つファイルは、インターネット上のムービーのURLが指定されているファイルです。microSDカードに保存されているこれらのファイルを選択した場合、指定されたURLからストリーミングもしくはダウンロード再生を行います。

ｉモーション一覧画面･ムービー一覧画面･再生履歴一覧画面の機能メニュー

ｉモーション編集		P.369参照
タイトル編集		ｉモーションのタイトルを編集します。（P.351参照）
ｉモーション貼付		
	着信音	ｉモーションを着信音に設定します。 ▶**着信の種類を選択** ●設定された項目には「★」マークが付きます。
	待受画面	ｉモーションを待受画面に設定します。 ▶YES
	待受画面（横画面モード）	ｉモーションを待受画面（横画面）に設定します。 ▶YES
	ウェイクアップ表示	ｉモーションをウェイクアップ表示に設定します。 ▶YES
ｉモーション情報		ｉモーションのタイトル、ファイル名などを表示します。
ｉモードメール添付		ファイルを添付してｉモーションメールを作成します。 P.142手順2へ進みます。 ●（ ）を押してもｉモードメールを作成できます。
ブログ投稿		P.207「登録したサイトにファイルをアップロードする」手順2へ進みます。
赤外線送信		P.399参照
iC送信		P.401参照
microSDへコピー		P.386参照
本体へコピー		P.387参照
microSDへ移動		P.388参照
本体へ移動		P.388参照

つづく

項目	説明
コンテンツ情報	ムービーのタイトル、ファイル名などを表示します。
移動／コピー	
フォルダ移動	
1件移動	P.350参照
選択移動	P.350参照
全件移動	P.350参照
コピー	
1件コピー	P.351参照
選択コピー	P.351参照
全件コピー	P.351参照
デスクトップ貼付	P.33参照
ファイル名編集	P.351参照
ファイル制限	P.351参照
タイトル初期化	ｉモーションのタイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
履歴情報	再生履歴の情報が表示されます。
しおり登録	再生履歴に記憶されているムービーのURL情報をしおりに登録します。しおりから再生する際は先頭から再生されます。 ▶登録したいしおりを選択 ●「復旧しおり」は選択できません。
説明表示	ムービーの説明を表示します。 ●全角1024文字/半角2048文字まで表示されます。
プログラム情報	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画のタイトルなどを表示します。
1件削除	P.351参照
全削除	P.352参照
お預かりセンターに保存	P.135参照
複数選択	複数のファイルを選択して操作します。 ▶操作したいファイルにチェック▶iα(機能) ▶項目を選択 削除 . . . . .P.351「1件削除」参照 コピー . . . . .P.351「1件コピー」参照 フォルダ移動 . . . . .P.350「1件移動」参照 microSDへコピー . . . .P.386参照 本体へコピー . . . . .P.387参照 赤外線送信 . . . . .P.399参照 全選択 . . . . .全選択します。 全選択解除 . . . . .選択をすべて解除します。
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	P.351参照
一覧表示切替	ｉモーション一覧画面の表示方法を変更します。 ▶表示方法を選択
きせかえ設定	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を再生中のデザインを変更します。 ▶パターン1・パターン2

お知らせ

<タイトル編集>
- ムービーのタイトルを編集する場合は、機能メニューから「編集」を選択し、「タイトル編集」を選択します。

<ｉモーション貼付>
- 待受画面に設定した場合、VGA(640×480)以外のｉモーションはVGA(640×480)に拡大、または縮小されます。
- 取得元が「 」のｉモーションは着信音や着信画面に設定できません。
- 着信音や着信画面に設定可能なｉモーションかどうかを確認するには「ｉモーション情報」参照。

お知らせ

＜ｉモードメール添付＞＜ブログ投稿＞
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいときはメールサイズに切り出すかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択するとｉモーションの先頭から約2Mバイトまでを切り出します。
- ｉモーションによってはｉモードメール作成できない場合があります。
- ｉモーションによっては、ファイルサイズが増減する場合があります。
- ｉモーション編集画面から2Mバイトを超えるｉモーションは添付できません。ｉモードメールに添付できるサイズに切り出すには「メールサイズ切り出し」参照。

＜フォルダ移動＞
- ｉモーション一覧画面では、「移動／コピー」メニューは表示されずに「フォルダ移動」を選択する操作となります。また、「フォルダ移動」を選択すると「1件移動」の動作になります。

＜コピー＞
- ｉモーション一覧画面では、「移動／コピー」メニューは表示されずに「コピー」を選択する操作となります。また、「コピー」を選択すると「1件コピー」の動作になります。

＜タイトル初期化＞
- ムービーのタイトルを初期化する場合は、機能メニューから「編集」を選択し、「タイトル初期化」を選択します。

＜1件削除＞＜全削除＞
- ムービーや「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を削除する場合は、機能メニューから「削除」を選択し、「1件削除」または「全削除」を選択します。

＜複数選択＞
- ムービーや「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を複数選択して削除する場合は、機能メニューから「削除」を選択し、「選択削除」を選択します。（P.352参照）

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
チャプター一覧	ｉモーションに登録されているチャプターの一覧を表示し、再生したいチャプターを選択します。 ▶**再生したいチャプターを選択**
スロー再生	ｉモーションを通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●スロー再生を解除するには、✉（▶）を押すか「通常再生」の操作を行います。
早見再生（1.25倍速）	ｉモーションを通常の約1.25倍の速度で再生します。 ●✉（⏩）を押すと2倍速再生されます。 ✉（▶）を押すと通常再生に戻ります。
早見再生（2倍速）	ｉモーションを通常の約2倍の速度で再生します。 ●早見再生を解除するには、✉（▶）を押すか「通常再生」の操作を行います。
早送り	ムービーを早送り再生します。 ●早送り再生を解除するには、✉（▶）を押します。
早戻し	ムービーを逆方向に早戻し再生します。 ●早戻し再生を解除するには、✉（▶）を押します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	ｉモーション･ムービーの再生を開始する位置を設定します。 ▶**◎でタイムバーのカーソルを移動**▶●（確定） ●中止する場合はCLRを押します。
画質モード設定	「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画を再生する際の画質を変更します。 ▶**項目を選択** **スタンダード**．．．標準的な画質 **スポーツ**．．．．．．．スポーツ番組などに適した画質 **シネマ**．．．．．．．．映画などに適した画質 **ダイナミック**．．．動きを強調したダイナミックな画質
サウンド効果	
リ．マスター設定	イヤホンやBluetooth機器からの音を、データ圧縮時に失われた高音域を補完し原音に近づけます。 ▶**ON･OFF**

つづく↓

項目	説明
リスニング設定	イヤホンやBluetooth機器からの音にリスニングの効果を設定します。 ▶**項目を選択** **サラウンド** . . . . 自然で立体感のある音にします。 **ナチュア1･2**. . . イヤホン特有の閉塞感を補完し自然な音で再生します。1か2は、好みにより選択してください。 OFF . . . . リスニング設定をOFFにします。
イコライザー設定	イヤホンやBluetooth機器からの音質を変更します。 ▶**項目を選択** **ノーマル** . . . . . 通常の音質です。 H.BASS1 . . . 低音を強調します。 H.BASS2 . . . H.BASS1よりさらに低音を強調します。 **ボイス**. . . . . 会話を聞き取りやすくします。 **トレイン** . . . . . 音漏れの原因となる「シャカシャカ音」を低減します。
コンテンツ情報	P.364参照
しおり登録	ｉモーション･ムービーにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**登録したいしおりを選択** ●「復旧しおり」は選択できません。
ｉモーション編集	P.369参照
メール添付／ブログ投稿	
ｉモードメール添付	P.363参照
ブログ投稿	P.363参照
ｉモーション貼付	P.363参照
ｉモーション情報	P.363参照
赤外線送信	P.399参照
iC送信	P.401参照
本体へコピー	P.387参照
デスクトップ貼付	P.33参照
説明	ムービーの歌詞や説明を表示します。 ▶**歌詞表示･説明表示** ●それぞれ全角1024文字/半角2048文字まで表示されます。
URLコピー	インターネット上で公開されているムービーを再生中に、ムービーのURLをコピーします。 ●URLは半角512文字までコピーできます。
表示サイズ設定	ｉモーション･ムービーを本来のサイズで表示(等倍表示)するか画面サイズに合わせて表示するかを設定します。 ▶**等倍表示･画面サイズで表示** ●「等倍表示」に設定しても、画面サイズを超えるｉモーション･ムービーは画面サイズに縮小されます。また、QCIF(176×144)以下のｉモーション･ムービーは、縦横2倍のサイズで表示されます。
全画面モード切替	ｉモーションの表示方法を切り替えます。項目を選択するごとに、縦画面での再生→画面サイズに合わせて横画面での再生→拡大して全画面での再生に切り替えられます。

お知らせ

<チャプター一覧>

●チャプター送り／戻し制限がかかっている場合、現在再生している地点より後／前のチャプターは選択できません。

<スロー再生>

●以下のｉモーションはスロー再生できません。
･ストリーミングタイプのｉモーション
･データを取得しながら再生中のｉモーション
･待受画面から再生したｉモーション

<早見再生>

●ｉモーションによっては、早見再生されない場合があります。

●早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<早送り><早戻し>

●「BD／DVDレコーダー」フォルダ内の動画の場合は、10倍速か30倍速を選択します。

お知らせ

<再生位置選択>

- ｉモーション·ムービーによっては、再生位置を選択できない場合があります。

<サウンド効果>

- イヤホンやBluetooth機器と接続していない場合でも、画面にはそれぞれの設定内容が表示されます。
- 音声形式がAMRやG.726のｉモーションの場合、サウンド効果が無効になる場合があります。

<しおり登録>

- ｉモーション·ムービーによっては、しおりを登録できない場合があります。
- ムービーによっては、一時停止した位置に関わらず、先頭が再生開始位置として登録される場合があります。

<全画面モード切替>

- QCIF(176×144)以下のｉモーションは全画面では再生されません。

HDD(ハードディスク)レコーダーで録画した動画をFOMA端末で再生する

FOMA端末とHDDレコーダーをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01/02(別売)で接続することで、HDDレコーダーに保存されている動画をmicroSDカードに保存して、FOMA端末で再生することができます。

- FOMA端末とHDDレコーダーを接続する場合は、「USBモード設定」を「microSDモード」に設定してください。(P.391参照)
  動画を転送する方法についての詳細は、HDDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 対応機種については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドで動画の音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。(P.444参照)

1 **MENU▶データBOX▶ｉモーション／ムービー▶BD／DVDレコーダー▶ファイルを選択**

- 前回再生した情報がある場合は、前回停止した箇所から再生します。
  ✉(先頭再生)を押すと先頭から再生されます。
- ファイルの一覧画面表示中の機能メニューについては、P.363参照。

■再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合はP.365参照。

操作	ボタン操作
消音／消音解除	[マナー]
一時停止	●(❚❚)または[録画]、[カメラ] ●再生するには●(▶)または[録画]、[カメラ]
音量調節	[上下]または▲▼
次のチャプターを表示	[右]
前のチャプターを表示	[左] ●再生時間が3秒以上の場合は頭出し(チャプターがある場合はチャプターの頭出し)
スキップ(送り)	再生中、一時停止中に[右](1秒以上) ●約30秒後方にスキップ
スキップ(戻し)	再生中、一時停止中に[左](1秒以上) ●約10秒前方にスキップ
早戻し※1	1 ●再生するには●(▶)または[録画]、[カメラ]
早送り※2	3 ●再生するには●(▶)または[録画]、[カメラ]
縦画面／横画面／全画面切替	[カメラTV](横画面) ●押すごとに表示方法を切り替え ●ノーマルスタイル時に操作できます。
アイコン表示	MENU(アイコン) ●押すごとに「アイコン、ナビゲーションの表示」→「アイコン、ナビゲーションの非表示」→「全画面表示」の順に切り替え ●ヨコオープンスタイル時に操作できます。
リ. マスター設定	9 ●押すごとに「ON」「OFF」を切り替え

つづく↳

操作	ボタン操作
リスニング設定	⑧ ●押すごとに「OFF」→「サラウンド」→「ナチュア1」→「ナチュア2」の順に切り替え
イコライザー設定	⑦ ●押すごとに「ノーマル」→「H.BASS1」→「H.BASS2」→「ボイス」→「トレイン」の順に切り替え

※1 10倍速で早送り中は通常再生、30倍速で早送り中は10倍速で早送りの操作になります。

※2 10倍速で早戻し中は通常再生、30倍速で早戻し中は10倍速で早戻しの操作になります。

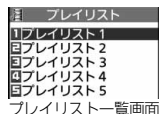
プレイリストを利用する

ｉモーションをプレイリストに登録して、好きな順に連続で再生できます。プレイリストは5件まで作成でき、1件あたり30件のｉモーションを登録できます。

プレイリスト登録

1 MENU▶データBOX ▶ｉモーション／ムービー ▶プレイリスト ▶プレイリスト1～5を選択

プレイリスト
1 プレイリスト 1
2 プレイリスト 2
3 プレイリスト 3
4 プレイリスト 4
5 プレイリスト 5

プレイリスト一覧画面

2 <1番目>～<30番目>を選択▶フォルダを選択 ▶ｉモーションを選択

3 手順2を繰り返す▶✉(完了)

●登録したｉモーションを解除するには、ｉα(機能)を押して「1件解除」を選択します。「全解除」を選択すると、登録済みのすべてのｉモーションを解除できます。

●登録したｉモーションの順番を変更するには、ｉα(機能)を押して「曲順変更」を選択し、順番を変更したいｉモーションを選択します。つづいて変更先を選択すると順番を変更できます。

お知らせ

●部分保存したｉモーションはプレイリストに登録できません。

プレイリスト再生

1 プレイリスト一覧画面 ▶プレイリストを選んで✉(再生)

プレイリスト一覧画面の機能メニュー

再生	P.368参照
プレイリスト編集	プレイリストを編集します。 P.368手順2へ進みます。
プレイリスト解除	プレイリストに登録されているｉモーションをすべて解除します。 ▶YES
プレイリスト名編集	プレイリスト名を編集します。 ▶プレイリスト名を入力 ●全角10文字/半角20文字まで入力できます。

＜ｉモーション編集＞

ｉモーションを編集する

ｉモーションを編集します。編集したｉモーションは、編集元のｉモーションがあるフォルダに保存されます。

1 ｉモーション一覧画面・一時停止中・再生終了時▶(機能)▶ｉモーション編集

●または▲▼で音量を調節できます。

ｉモーション編集画面

2 (機能)▶ｉモーションを編集

操作方法についてはP.370をご覧ください。

3 (保存)を押す

●編集したｉモーションを保存しない場合は、CLRまたはを押して「YES」を選択します。

4 YES

●保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。

■ ｉモーション編集中・デモ再生中の操作

操作	ボタン操作
早見再生	()(P.365参照)
一時停止	() ●再生するには()
早送り	を押し続ける
早戻し	を押し続ける
コマ送り	一時停止中にまたは(コマ送)
コマ戻し	一時停止中に
音量調節	または▲▼

●状況によっては実行できない操作もあります。

お知らせ

●以下のｉモーションは編集できません。
・サイトもしくはｉモードメールから取得した「ファイル制限」、「再生制限」がありのファイル
・VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)、QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のファイル
・microSDカードに保存されているファイル

●ｉモーションによっては編集できない場合があります。

●ｉモーション編集により、画質が劣化したりファイルサイズが増減することがあります。

●編集中に電話がかかってきた場合、電池がなくなった場合、FOMA端末を閉じた場合は、編集内容を保存するかどうかの確認画面が表示されることがあります。

ｉモーション編集画面の機能メニュー

ｉモーション切り出し	ｉモーションから任意の範囲を切り出します。 ▶**[◯]で開始フレームを表示**▶[✉]([始点]) 開始フレームが設定され、ｉモーションが再生されます。 ▶**切り出したいところまで再生したら**[●]([Ⅱ]) ｉモーションの再生が一時停止します。 ▶**[◯]で終了フレームを表示**▶[✉]([終点]) 切り出した範囲が再生されます。 ●ファイルサイズが約10Mバイトになると自動的に終了フレームが設定されます。 ▶[●]([確定]) ●[✉]([デモ])を押すとデモ再生され、編集したｉモーションを確認できます。
ピクチャ切り出し	静止画を切り出して保存します。 ▶**[◯]でフレームを表示**▶[✉]([確定])▶YES ▶**フォルダを選択** ｉモーションが終了します。 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。
メールサイズ切り出し	ｉモーションをｉモードメールに添付可能なサイズに切り出します。 ▶**メールサイズ(小)･メールサイズ** **メールサイズ(小)**．．．約500Kバイト以下のサイズに切り出します。 **メールサイズ**．．．．．．．約2048Kバイト以下のサイズに切り出します。 ▶**[◯]で開始フレームを表示**▶[✉]([始点]) ｉモーションが再生されます。 約500Kバイトまたは2048Kバイトのサイズ、または再生終了時点になると、自動的に再生が停止します。 ▶[●]([確定]) ●[✉]([デモ])を押すとデモ再生され、編集したｉモーションを確認できます。
メール添付／ブログ投稿	
ｉモードメール添付	P.363参照
ブログ投稿	P.363参照
ファイル制限	P.351参照

お知らせ

＜ｉモーション切り出し＞
- ｉモーション切り出しを行うと、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

ｉモーション編集中の機能メニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。
早見再生(1.25倍速)	通常の約1.25倍の速度で再生します。
早見再生(2倍速)	通常の約2倍の速度で再生します。
始点	ｉモーション切り出し、メールサイズ切り出しの開始フレームを設定します。
終点	ｉモーション切り出しの終了フレームを設定します。
確定	ピクチャ切り出しのフレームを設定します。
停止	停止します。

<ビデオプレーヤー>

ビデオを再生する

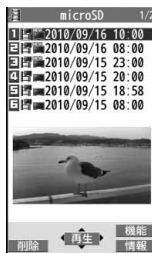
microSDカード内に保存したビデオを再生します。再生中にスタイルを変更するだけで、縦画面と横画面が自動で切り替わります。ノーマルスタイルでは[カメラ/TV]を押して手動で切り替えることもできます。

- ステレオイヤホンマイク(別売)を接続してステレオサウンドでビデオの音声を再生できます。また、市販のBluetooth機器を利用して、ワイヤレスで音声を再生できます。(P.444参照)

1 [MENU]▶データBOX▶ワンセグ▶ビデオ▶ファイルを選択

- 前回再生した情報がある場合は、前回停止した箇所から再生します。[メール](先頭再生)を押すと先頭から再生されます。
- ビデオ一覧画面で分割ファイルを含むビデオを選択した場合、分割録画ビデオの一覧から再生するビデオを選択します。

フォルダー一覧画面

→

ビデオ一覧画面

- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。
- 再生時は番組名やタイムバー(目安)などが表示されます。

再生不可

プレビュー画像なし

■ビデオ再生時の操作

- 機能メニューから操作する場合はP.373参照。

操作	ボタン操作
早見再生※1	[メール] ●押すごとに「1.25倍速」→「2倍速」→「あらすじ再生」→「通常再生」の順に切り替え
消音／消音解除	[マナー]
一時停止※1	[決定](❚❚)または[動画] ●再生するには[決定](▶)または[動画]
コマ送り再生※1	一時停止中に[メール](コマ送) ●押すごとにコマ送り
音量調節	[上下]※1または[▲][▼]
早送り※1	[右] ●再生するには[決定](▶)または[動画]
早戻し※1	[左] ●再生するには[決定](▶)または[動画]
スキップ(送り)※1	再生中、一時停止中に[右](1秒以上)または[#] ●約30秒後方にスキップ
スキップ(戻し)※1	再生中、一時停止中に[左](1秒以上)または[*] ●約10秒前方にスキップ
番組名表示※2	[開始] ●タイムバーなども表示 ●ボタン操作を行ったときやスタイルを切り替えたときにも表示
映像／字幕表示切替	番組名表示中に[開始] ●横画面表示では押すごとにアイコン表示のON／OFFと「横画面字幕表示設定」の設定を切り替え ●横画面表示では字幕の有無に関わらず、タイムバーの表示位置も切り替え
表示方向切替／全画面切替	[カメラ/TV]※3 ●映像モードでは押すごとに表示方向を切り替え ●データ放送モードでは押すごとに半画面表示／全画面表示を切り替え
映像／データ放送切替	[MENU]※4 ●押すごとに映像モードとデータ放送モードを切り替え

※1 データ放送モードでは操作できません。

つづく↓

※2 スキップ、早送り、早戻し、再生位置選択の直後に操作した場合、「ビデオ情報」に保存されている番組名が表示される場合があります。
※3 ヨコオープンスタイルでは操作できません。
FOMA端末を閉じると縦画面表示に戻ります。また、ヨコオープンスタイルでは自動的に横画面表示になり、縦画面表示にはできません。
※4 横画面表示中は番組名表示の操作になります。

ビデオのフォルダ一覧画面で「しおり」を選択したときは

しおりの選択画面が表示されます。「復旧しおり」または「指定しおり1･2」を選択すると、登録していた箇所からビデオが再生されます。

復旧しおり	ビデオ再生中に着信や各種アラーム動作があったとき、電池がなくなるときなどに自動的に記憶されるしおりです。
指定しおり	あらかじめビデオの任意の場面に登録しておくもので、2つまで作成できます。(P.373参照)

●「指定しおり」を削除するには[i](機能)を押して「削除」を選択します。「復旧しおり」は削除できません。
●しおりを登録したビデオを削除していた場合は再生できません。

お知らせ

●コマ送り再生中／スキップ中は無音です。また、字幕は表示されません。
●一時停止中、コマ送り再生中、スロー再生中、早見再生中は「サウンド設定」を「ON」にしていても効果音は鳴りません。
●ワンセグ視聴中やビデオ再生中にデータ放送の確認画面で「YES(以後確認しない)」を選択している場合は、自動的にデータ放送の情報が更新され、パケット通信料がかかることがあります。(P.270参照)
●一時停止中、再生終了時はデータ放送のリンクなどを選択しても操作できない場合があります。
●横画面ではデータ放送を表示できません。
●電波状態が悪いため正しく録画できなかった部分は表示されず、正しく再生できる位置までスキップされます。その際、数秒間映像が表示されなかったり、乱れたりする場合があります。また、タイムバーが正しく表示されない場合があります。

お知らせ

●電池残量が少ない状態で、ビデオを再生しようとした場合は、電池残量警告音が鳴り、再生するかどうかの確認画面が表示されます。また、再生中に電池残量が少なくなった場合は、再生が一時停止され、電池残量警告音が鳴り、終了するかどうかの確認画面が表示されます。電池残量警告音は、「ボタン確認音」の設定に関わらず鳴ります。
●編集機能が搭載された携帯電話やパソコンなどを利用してビデオを編集(分割)した場合、FOMA端末では正しく再生できないことがあります。

ビデオ一覧画面の機能メニュー

タイトル編集	▶**タイトルを入力** ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
ビデオ情報	ビデオの番組名、チャンネル名などを表示します。 ●[📷TV](情報)を押してもビデオの番組名、チャンネル名などを表示できます。
デスクトップ貼付	P.33参照
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
削除	
1件削除	▶YES ●[MENU](削除)を押しても1件削除できます。
選択削除	▶**削除したいビデオにチェック**▶[✉](完了)▶YES
全削除	▶**端末暗証番号を入力**▶YES
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
一覧表示切替	ビデオ一覧画面の表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択**

データ管理

お知らせ

<削除>
- 複数のビデオを削除中に着信があった場合は、削除は中止されます。
- 録画時間の長いビデオは、削除に時間がかかることがあります。その場合、電池残量が十分にあることを確認してから行ってください。
- 他の機器でプロテクトがかけられたビデオは「1件削除」でのみ削除できます。
- FOMA端末に対応していないデータが含まれているビデオは削除できないことがあります。

<一覧表示切替>
- 電波状態が悪いため正しく録画できなかったビデオは、画像が表示されない場合があります。

一時停止中・再生終了時の機能メニュー

通常再生	通常の速度で再生します。
スロー再生	通常の約1/2の速度で無音で再生します。 ●スロー再生を解除するには、「通常再生」の操作を行います。
早見再生	早い速度で再生します。 ▶**項目を選択** **1.25倍速**……通常の約1.25倍の速度で再生します。 **2倍速**……通常の約2倍の速度で再生します。 **あらすじ再生**……ビデオの音声に合わせて再生速度が自動的に調節されます。 ●早見再生を解除するには[メール]を何度か押すか「通常再生」の操作を行います。
早送り	早送り再生します。 ▶**10倍速・30倍速** ●早送り再生を解除するには、[●](▶)または[録画]を押します。
早戻し	逆方向に早戻し再生します。 ▶**10倍速・30倍速** ●早戻し再生を解除するには、[●](▶)または[録画]を押します。
停止	再生を終了します。
再生位置選択	再生を開始する位置を設定します。 ▶[○]**でタイムバーのカーソルを移動**▶[●](確定) ●中止する場合は[CLR]を押します。
しおり登録	ビデオにしおりを登録します。登録したい位置で一時停止中に登録します。 ▶**しおり1に登録・しおり2に登録**
ビデオ情報	P.372参照
デスクトップ貼付	P.33参照
映像/字幕表示切替	P.269「映像/字幕表示設定」参照
映像/データ放送切替 プレーヤー起動時 映像モード	縦画面で再生中に、映像モードとデータ放送モードを切り替えます。
アイコン常時表示設定	P.269参照
画質モード設定	P.270参照
音声設定	
サウンド効果	
自動音量設定	P.270参照
リ.マスター設定	P.270参照
リスニング設定	P.270参照
イコライザー設定	P.270参照
主/副音声設定 プレーヤー起動時 主音声	▶**主音声・副音声・主/副同時**
横画面字幕表示設定	P.269参照

つづく

データ放送操作		
	コンテンツ再読み込み	表示中のデータ放送サイトを再読み込みします。 ●サイトによっては、入力したデータを再度送信するかどうかの確認画面が表示されます。
	証明書表示	P.196参照
	画像表示設定	P.210参照
	サウンド設定	P.270参照
	確認表示設定リセット	P.270参照
データ放送へ戻る		データ放送サイトの閲覧を終了し、データ放送に戻ります。

お知らせ

<早見再生>

●ビデオによっては、早見再生されない場合があります。

●早見再生中は、音声が聞き取りにくい場合があります。

<再生位置選択>

●ビデオによっては、再生位置を選択できない場合があります。

●電波状態が悪いため正しく録画できなかった位置を選択した場合は、正しく再生できる位置まで移動します。

キャラ電

キャラ電とは、テレビ電話画像として相手に送れるお客様の分身キャラクタのことです。
キャラ電プレーヤーで再生、撮影することもできます。

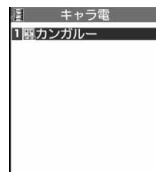
●お買い上げ時に登録されているキャラ電は削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.205参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

●キャラ電によっては、送話口に向かって話した音声に合わせて自動で動くものもあります。

<キャラ電プレーヤー>
キャラ電を表示して操作する

登録されているキャラ電を表示します。
ボタン操作によりキャラ電にアクションを付けることができます。

1

MENU▶データBOX▶キャラ電▶キャラ電を選択

キャラ電一覧画面　→　キャラ電表示画面

■キャラ電操作のボタン割当
「アクション一覧」で操作できるアクションを確認できます。
●操作できるアクション数はキャラ電により異なります。

ボタン操作	内容
1～9 #1～#9※1※2 (全体アクションモード時)	全体アクション：身体全体でアクションを表現します。
11～99※1 (パーツアクションモード時)	パーツアクション：身体の一部でアクションを表現します。
0	実行中のアクションを中断します。
MENU	「アクション一覧」を表示します。
✉	テレビ電話発信になります。
📷TV	キャラ電を撮影します。

※1 お買い上げ時に登録されているキャラ電では利用できません。
※2 1桁目の#を取り消すにはもう一度#を押します。

キャラ電一覧画面の機能メニュー

キャラ電発信	P.76参照
代替画像設定	P.76参照
キャラ電撮影	P.376参照
タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角18文字/半角36文字まで入力できます。
キャラ電情報	キャラ電のタイトル、ファイル名などを表示します。
保存容量確認	保存容量(目安)を表示します。
デスクトップ貼付	P.33参照
1件削除	▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているキャラ電も削除されます。
複数選択	複数のキャラ電を選択して削除します。 ▶削除したいキャラ電にチェック▶iα(機能)▶削除▶YES
表示サイズ設定	キャラ電を等倍で表示するか画面サイズで表示するかを設定します。 ▶等倍表示・画面サイズで表示
タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES

お知らせ

<キャラ電情報>
●「撮影後ファイル制限」とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のメールへの添付、microSDカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

<1件削除><全削除><複数選択>
●代替画像に設定している「カンガルー」以外のキャラ電を削除した場合、代替画像は「カンガルー」に設定されます。「カンガルー」を削除した場合、「内蔵」の代替画像を送信します。

キャラ電表示画面の機能メニュー

キャラ電発信	P.76参照
代替画像設定	P.76参照
キャラ電撮影	P.376参照
デスクトップ貼付	P.33参照
アクション一覧	操作できるアクションの一覧を表示します。 ●アクションを選んで●(選択)を押すとアクションを実行でき、✉(詳細)を押すとアクションの詳細を確認できます。
アクション切替 キャラ電表示時 全体アクションモード	アクションモードを全体アクションモード(全)またはパーツアクションモード(部)に切り替えます。

つづく

キャラ電情報	P.375参照
表示サイズ設定	P.375参照

<キャラ電撮影>

キャラ電を撮影する

キャラ電を静止画や動画として撮影します。

1 キャラ電一覧画面・キャラ電表示画面▶i α(機能)▶キャラ電撮影

●キャラ電表示画面でTV(撮影)を押しても撮影できます。

キャラ電撮影画面

静止画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「📷」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の静止画が撮影されます。

●「🎞」が表示されているときはTV(フォト)を押して「📷」を表示します。

2 ●(保存)を押す

撮影した静止画を「マイピクチャ」の「カメラ」フォルダに保存します。

動画を撮影する

1 キャラ電撮影画面で「🎞」を表示して●(撮影)を押す

表示中のキャラ電の録画を開始します。

●「📷」が表示されているときはTV(ﾑｰﾋﾞｰ)を押して「🎞」を表示します。

2 ●(停止)▶●(保存)

撮影した動画を「ｉモーション／ムービー」の「カメラ」フォルダに保存します。

お知らせ

●動画撮影では、画像サイズはQCIF(176×144)に固定されます。

●マナーモード中や「着信音量」の「電話」や「メール」が「消去」に設定されている場合は、シャッター音は鳴りません。

●「映像／音声選択」が「映像＋音声」に設定されている場合は、音声も録音されます。

キャラ電撮影画面の機能メニュー

キャラ電切替	▶表示したいキャラ電を選択 ●キャラ電を切り替えると、アクションモードは「全体アクションモード」になります。
代替画像設定	P.76参照
アクション一覧	P.375参照
アクション切替	P.375参照
表示サイズ設定	P.375参照
記録サイズ設定	キャラ電の静止画を撮影、保存する際の画像サイズを設定します。フォトモード時のみ設定できます。 ▶QCIF(176×144)・縮小サイズ(117×96)
映像／音声選択	キャラ電の動画を撮影、保存する際の映像･音声の有無を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶映像＋音声・映像のみ
記録品質設定	キャラ電の動画を保存する際の画質を設定します。ムービーモード時のみ設定できます。 ▶項目を選択 **標準** . . . . .標準的な画質で保存します。 **画質優先**. . . . .より良い画質で保存します。 **動き優先**. . . . .スムーズな動きで保存します。 ●「画質優先」や「動き優先」に設定すると、「標準」に設定したときより撮影時間が短くなります。

<マチキャラ>
マチキャラを表示する

●お買い上げ時に登録されているマチキャラは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.205参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

1 MENU▶**データBOX▶マチキャラ▶マチキャラを選択**

●マチキャラ一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードの一覧画面が切り替わります。
●マチキャラ一覧画面で📷TV(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
●プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

プレビュー画像なし

ダウンロード未完了

●「ｉモードで探す」を選択した場合はP.205参照。

マチキャラ一覧画面

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

マチキャラ一覧画面の機能メニュー

マチキャラ設定		マチキャラを設定します。(P.113参照) ●✉(設定)を押してもマチキャラ設定できます。 ●microSDカード内のマチキャラはマチキャラ設定できません。
マチキャラ解除		設定中のマチキャラを解除します。
マチキャラ情報		マチキャラのタイトル、ファイル名などを表示します。
フォルダ移動		
	1件移動	P.350参照
	選択移動	P.350参照
	全件移動	P.350参照
microSDへ移動		P.388参照
本体へ移動		P.388参照
編集		
	タイトル編集	P.351参照
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
ソート		P.351参照
一括情報リセット		マチキャラに含まれる情報をリセットします。(P.113参照) ▶YES
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
削除		
	1件削除	P.351参照
	選択削除	P.352参照
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているマチキャラも削除されます。

お知らせ

<マチキャラ設定>
●プリインストールマチキャラの「まめはかせ」に設定している場合は、2010年11月20日～12月25日および2011年11月20日～12月25日の間のみ、サンタバージョンで表示されます。

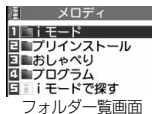
<タイトル編集>
●microSDカード内では、「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

<メロディプレーヤー> MENU 1 6

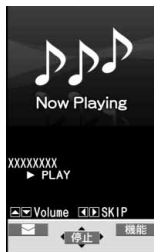
メロディを再生する

1 MENU▶**データBOX**▶**メロディ**

- フォルダー一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- フォルダー一覧画面の機能メニューはP.395参照。

フォルダー一覧画面

2 **フォルダを選択**▶**メロディを選択**

- 他の機能でフォルダやメロディを選択するときは、機能によって表示されないフォルダやメロディがあります。また、メロディ選択中は確認のためにメロディが再生される場合や、✉(デモ)を押してメロディを再生できる場合があります。
- 「iモードで探す」を選択した場合はP.205参照。

メロディ一覧画面

メロディ再生画面

プログラム再生

プログラム編集で選択したメロディを繰り返し再生します。

1 MENU▶**データBOX**▶**メロディ**▶**プログラム**

■メロディ再生時の操作

操作	ボタン操作
停止	●(停止)、発信、0〜9、*、#、✉※1、MENU、カメラ/TV、マナー※2
音量調節	上下キーまたは▲▼※2
次のファイルを再生※3	右キー
前のファイルを再生※3	左キー

※1 メールに添付できないメロディの場合のみ、停止します。
※2 FOMA端末を閉じている場合は、停止します。
※3 メロディ一覧画面から再生した場合に有効です。

お知らせ

- メロディは「着信音量」の「電話」で設定されている音量で再生されます。「着信音量」の「電話」が「消去」または「ステップ」に設定されていると、「レベル2」で再生されます。ただし、メロディ選択中に再生されるメロディの場合は鳴りません。
- 再生中に音量を変更しても、メロディプレーヤーを終了すると「着信音量」の「電話」で設定されている音量に戻ります。

メロディ一覧画面の機能メニュー

機能	説明
iモードメール添付	選択しているメロディをiモードメールに添付して作成します。 P.142手順2へ進みます。 ●✉(✉)を押してもiモードメールを作成できます。
着信音設定	▶**着信の種類を選択** ●設定された項目には「★」マークが付きます。
メロディ情報	メロディのタイトル、ファイル名などを表示します。
移動／コピー	
フォルダ移動	
1件移動	P.350参照

データ管理

	選択移動	▶移動先のフォルダを選択 ▶移動したいメロディにチェック▶[✉](完了) ▶YES
	全件移動	P.350参照
	microSDへ移動	P.388参照
	microSDへコピー	P.386参照
	お預かりセンターに保存	P.135参照
コピー		
	1件コピー	P.351参照
	選択コピー	P.351参照
	全件コピー	P.351参照
本体へコピー		P.387参照
本体へ移動		P.388参照
編集		
	タイトル編集	▶タイトルを編集 ●FOMA端末内のファイルの場合、全角31文字/半角63文字まで入力できます。 ●microSDカード内のファイルの場合、全角18文字/半角36文字まで入力できます。
	ファイル名編集	▶ファイル名を編集 ●半角英数字、記号(「.」、「-」、「_」のみ)で36文字(拡張子を除く)まで入力できます。
	ファイル制限	選択したメロディのファイル制限を設定します。ファイル制限を「あり」にすると、一次配布で受け取った側がｉモードメールに添付できなくなります。 ▶なし・あり
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
ソート		表示される順番を変更します。 ▶順番を選択 ●microSDカード内のファイルはソートできません。
デスクトップ貼付		P.33参照
赤外線／iC送信		
	赤外線送信	P.399参照
	iC送信	P.401参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
削除		
	1件削除	P.351参照
	選択削除	P.352参照
	全削除	P.352参照

お知らせ

<ｉモードメール添付>
- 取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のメロディ、100Kバイトを超えるメロディは添付できません。

<メロディ情報>
- メロディ情報のファイル制限が「なし」でも、ｉモードメールに添付できないことがあります。

<フォルダ移動>
- microSDカード内では、「移動／コピー」メニューは表示されずに「フォルダ移動」を選択する操作となります。

<ファイル名編集>
- 取得元アイコンが「」や「」で、「」や「」のアイコンが表示されているメロディはファイル名を変更できません。
- 一部の文字や記号はファイル名に使用できません。

お知らせ

<ファイル制限>

- 取得元アイコンが「 」のメロディにのみファイル制限を設定できます。
- ファイル制限を設定することによって100Kバイトを超える場合、ファイル制限を設定できません。
- 「ファイル制限」を「あり」にした場合でも、赤外線通信機能で送信したり、microSDカードにコピーすることで静止画や動画を送り先の携帯電話から出力できます。

<削除>

- 他の機能に設定していたメロディを削除するとお買い上げ時の設定に戻ります。(「スケジュール」「ToDo」「視聴予約」のアラーム音や「アラーム」に設定されていた場合、「時刻アラーム音」になります。)
- お買い上げ時に登録されているメロディは削除できません。

メロディ再生画面の機能メニュー

iモードメール添付	P.378参照
着信音設定	P.378参照
メロディ情報	P.378参照
microSDへコピー	P.386参照
本体へコピー	P.387参照
デスクトップ貼付	P.33参照
フルコーラス再生・ポイント再生	メロディの再生開始位置を一時的に切り替えます。

<きせかえツール>

きせかえツールを確認する

- お買い上げ時に登録されているきせかえツールは削除できます。「P-SQUARE」のサイト(P.205参照)から再びダウンロードできます。ダウンロード時と異なるFOMAカードを使用中は、FOMAカードセキュリティ機能(P.42参照)が設定されます。

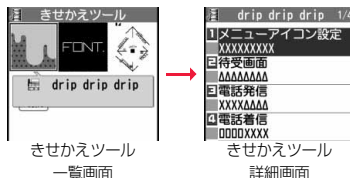
1 **MENU▶データBOX▶きせかえツール▶きせかえツールを選択**

きせかえツール詳細画面で項目を反転／選択すると、それぞれの設定内容がデモ再生されます。

きせかえツール一覧画面

きせかえツール詳細画面

- きせかえツール一覧画面でMENUを押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードの一覧が切り替わります。microSDカード内のフォルダ一覧画面でフォルダを選択すると、きせかえツール一覧画面が表示されます。
- きせかえツール一覧画面で📷TV(切替)を押すごとに表示方法を変更します。
- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.395参照。
- プレビュー画像が表示できないときは右の画像が表示されます。

- 「iモードで探す」を選択した場合はP.205参照。

お知らせ

- 時計表示はデモ再生できません。

データ管理

きせかえツール一覧画面･詳細画面の機能メニュー

一括設定		きせかえツールを一括で設定します。(P.112参照) ●✉(一括設定)を押しても一括設定できます。 ●microSDカード内のきせかえツールは一括設定できません。
きせかえツール情報		きせかえツールのタイトル、ファイル名などを表示します。
ファイル情報		ファイル名やファイル種別を表示します。
フォルダ移動		
	1件移動	P.350参照
	選択移動	P.350参照
	全件移動	P.350参照
microSDへ移動		P.388参照
本体へ移動		P.388参照
編集		
	タイトル編集	P.351参照
	タイトル初期化	タイトルを編集前のタイトルに戻します。 ▶YES
ソート		P.351参照
保存容量確認		保存容量(目安)／件数を表示します。
削除		
	1件削除	P.351参照
	選択削除	P.352参照
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES ●お買い上げ時に登録されているきせかえツールも削除されます。

お知らせ

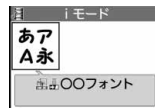
<タイトル編集>

●microSDカード内では､「編集」メニューは表示されずに「タイトル編集」を選択する操作となります。

<フォント>

フォントファイルを管理する

1 MENU▶データBOX▶フォント▶フォルダを選択

●フォント一覧画面で📷TV(切替)を押すごとに表示方法を変更します。

フォント一覧画面

フォント一覧画面の機能メニュー

フォント設定	文字のフォントを変更します。(P.117参照) ●✉(設定)を押してもフォント設定できます。
フォント情報	フォントのファイル種別、タイトルなどを表示します。
タイトル編集	P.351参照
1件削除	P.351参照
全削除	P.352参照
選択削除	▶削除したいフォントにチェック▶iα(機能)▶削除▶YES
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
ソート	P.351参照

データ管理

microSDカード

microSDカードをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。

- P-04Bでは市販の2GバイトまでのmicroSDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています。(2010年4月現在)
  microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから
    P-SQUARE(2010年4月現在)
    ｉMenu→メニューリスト
    →ケータイ電話メーカー→P-SQUARE
  - パソコンから
    http://panasonic.jp/mobile/

  サイト接続用QRコード

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カード処理を行っているときは「」が表示されます。カード処理を行っているときは絶対にmicroSDカードを抜いたり、FOMA端末の電源を切らないでください。カード処理を行っていないことを確認してからFOMA端末の電源を切って、microSDカードを抜いてください。
- 本体･microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。
- microSDカードに保存可能な件数･時間についてはP.394参照。
- microSDカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなかったり、使用できなくなることがあります。
- FOMA端末では、画面メモや、ダウンロードしたファイル制限のある静止画、ｉモーション、ムービー、メロディ、きせかえツール、マチキャラ、着うたフル®、ｉアプリをmicroSDカードに保存できます。IP(サービス提供者)が許可していない場合は、保存できません。

お知らせ

- パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは使用できないことがあります。必ずP-04BでフォーマットしたmicroSDカードをご使用ください。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

お知らせ

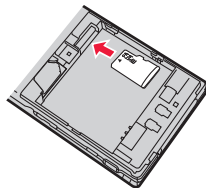
- 本FOMA端末以外の機器でmicroSDカードの読み書きを行うと、ご利用の機器や操作方法によってはmicroSDカードが使用できなくなる場合があります。
- パソコンなど他機器で使用しているmicroSDカードをP-04Bで使用すると、P-04Bで使用するための新しいファイルやフォルダが作成されます。

microSDカードの取り付けかた／取り外しかた

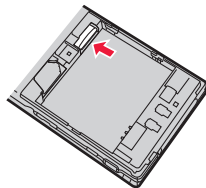
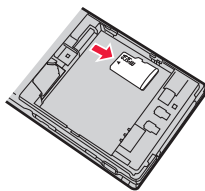
microSDカードは、電源を切り、電池パックを外してから取り付けます。(P.43参照)

■取り付けかた

1 金属端子面を下にし、切り込みの部分が右側になっていることを確認して差し込む

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

■取り外しかた

1 microSDカードをいったん奥まで押し込む

- 奥まで押し込むとmicroSDカードが出ます。

2 microSDカードを抜き取る

■画面表示について

microSDカードを取り付けると以下のアイコンが表示されます。

SD:データを保存したり読み出したりできます。

SD:microSDカードにライトプロテクトがかかっています。データの保存、「microSDチェックディスク」、「microSDフォーマット」はできません。

SD:microSDカードを使用できません。microSDカードを取り外して、再度取り付けてください。
それでも「SD」が表示される場合は、「microSDチェックディスク」または「microSDフォーマット」を行ってください。

お知らせ

- microSDカードを取り付けたり取り外したりするときは、飛び出すことがありますのでご注意ください。
- microSDカードの向きを確認してまっすぐに出し入れしてください。斜めに差し込むとmicroSDカードが破損する恐れがあります。
- microSDカードを取り付けたあと、最初の読み込みまたは書き込みができるまで時間がかかることがあります。

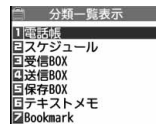
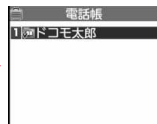
<microSD>

microSDカードのデータを表示する

microSDカードに登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、Bookmarkを表示します。

- 電話帳、メール、Bookmarkの詳細画面では、FOMA端末内のデータを表示した場合と同様の操作ができます。
電話帳の詳しい操作についてはP.92参照。
メールの詳しい操作についてはP.168参照。
Bookmarkの詳しい操作についてはP.199参照。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶分類を選択

- 「スケジュール」を選択すると、ToDoも表示されます。

分類一覧表示画面　　microSDファイル画面（電話帳の場合）

2 ファイルを選択▶データを選択

データ一覧画面（電話帳の場合）　　データ詳細画面（電話帳の場合）

データ管理

分類一覧表示画面・microSDファイル画面・データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー

タイトル編集	▶タイトルを入力 ●全角15文字/半角31文字まで入力できます。
本体へ追加コピー	P.385参照
本体へ上書コピー	P.386参照
本体へ1件追加コピー	P.385参照
本体へ全件追加コピー	P.385参照
本体へ全件上書コピー	P.385、P.386参照
microSDへコピー	P.384参照
本体へコピー	P.385参照
1件削除	▶YES
全削除	現在表示している分類にあるファイルを全件削除します。 ▶端末暗証番号を入力▶YES
microSD情報表示	P.391参照
プロパティ表示	データ詳細画面を表示します。
microSDフォーマット	P.391参照
microSDチェックディスク	P.391参照

FOMA端末内のデータをmicroSDカードへコピーする

FOMA端末に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、BookmarkをmicroSDカードにコピーします。

microSDへ1件コピー

FOMA端末内の1件のデータをmicroSDカードにコピーします。コピーしたデータは、1件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードはコピーされません。

1 コピーしたいデータの機能メニュー▶microSDへコピー▶YES

microSDへ全件コピー

分類一覧画面で選択している分類やmicroSDファイル画面で表示している分類のデータをFOMA端末からmicroSDカードにコピーします。
コピーしたデータは、全件が1ファイルとして保存されます。
電話帳データに登録したシークレットコードやボイスダイヤルはコピーされません。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面の機能メニュー▶microSDへコピー▶端末暗証番号を入力▶YES

●スケジュールをコピーするときは、「スケジュール」・「ToDo」・「すべて」(スケジュールとToDo)のいずれかを選択します。
●Bookmarkをコピーするときは、「iモードブラウザ」・「フルブラウザ」・「すべて」(iモードとフルブラウザ)のいずれかを選択します。

お知らせ

●シークレットで登録されているデータを1件コピーした場合、通常のデータとしてコピーされます。
●データを全件コピーした場合、シークレットで登録されているデータもコピーされます。
●電話帳を全件コピーした場合、「自局番号表示」の内容もコピーされます。

お知らせ

- メールのコピーを行った場合、メールに添付されているファイルは種類によっては削除されることがあります。
- ｉアプリを起動させるリンクのあるメールをコピーした場合、そのメール内のｉアプリ起動に関する情報は削除されます。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

microSDカード内のデータをFOMA端末にコピーする

microSDカードに保存している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、BookmarkをFOMA端末にコピーします。

●microSDカードに保存できる件数についてはP.394参照。

本体へ1件追加コピー

データ一覧画面で選択しているデータや、データ詳細画面で表示しているデータをFOMA端末にコピーします。

1 データ一覧画面・データ詳細画面の機能メニュー ▶本体へ1件追加コピー・本体へコピー▶YES

本体へ全ファイル追加コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面の機能メニュー▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力 ▶YES

本体へ1ファイル追加コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに追加登録されます。

1 microSDファイル画面の機能メニュー ▶本体へ追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES
または
データ一覧画面の機能メニュー ▶本体へ全件追加コピー▶端末暗証番号を入力▶YES

本体へ全ファイル上書コピー

分類一覧表示画面で選択している分類の全ファイルの全データや、microSDファイル画面で表示している全ファイルの全データをFOMA端末にコピーします。
FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 分類一覧表示画面・microSDファイル画面の機能メニュー▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力 ▶YES▶YES

本体へ1ファイル上書コピー

microSDファイル画面で選択している1ファイル内の全データや、データ一覧画面で表示している全データをFOMA端末にコピーします。FOMA端末内のデータに上書登録されるため、FOMA端末内に登録されているデータは消去されますのでご注意ください。

1 microSDファイル画面の機能メニュー▶本体へ上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

または

データ一覧画面の機能メニュー▶本体へ全件上書コピー▶端末暗証番号を入力▶YES▶YES

- 電話帳の場合は、先頭のデータを自局番号に設定するかどうかの確認画面が表示されます。

お知らせ

- コピー中にFOMA端末の容量がいっぱいになった場合は、途中でコピーが中断されます。コピー済みのデータは登録されます。
- 電話帳を追加コピー時、microSDファイルに登録されているグループ番号･グループ名がFOMA端末に登録されているグループ番号･グループ名と異なる場合、グループは設定されません。
- 電話帳を上書きでコピーすると、ボイスダイヤルは削除されます。
- 受信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールを1件コピーしたときに最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- 他の機種で保存したファイルをコピーすると、フォルダ分けの設定などが反映されない場合があります。
- 「本体へ全件追加コピー」した場合、同じURLのBookmarkはコピーされません。
- microSDカードに保存されているファイル数が多くなると、読み込みまたは書き込みに時間がかかる場合があります。
- コピー中は圏外と同じ状態になります。

静止画や動画などをコピーする

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへコピーする

コピー先とファイル名は以下のとおりです。

静止画（DCF規格）	「ピクチャ」内の保存先フォルダ PXXXXXXX（Xは数字）
静止画（DCF規格外）	「イメージボックス」内の保存先フォルダ STILXXXX（Xは数字）
静止画（デコメ絵文字®）	「デコメ絵文字」内の保存先フォルダ DIMGXXXX（Xは数字）
ｉモーション（映像あり）	「SDビデオ」内の保存先フォルダ MOLXXX（Xは英数字）
ｉモーション（映像なし）	「その他コンテンツ」内の保存先フォルダ MMFXXXX（Xは数字）
メロディ	保存先フォルダ RINGXXXX（Xは数字）
PDF	保存先フォルダ FOMA端末内のファイル名と同じ
デコメアニメ®テンプレート	保存先フォルダ DEATXXXX（Xは数字）

- FOMA端末、microSDカード間でコピー、移動すると、ファイル形式が変換される場合があります。

1 コピーしたいデータの機能メニュー▶microSDへコピー•1件コピー•選択コピー•全件コピー

- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して[✉]（完了）を押します。

お知らせ

- 「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「デコメピクチャ」フォルダ、「デコメ絵文字」フォルダ、ユーザフォルダ、「自動お預かり」フォルダ内のファイルやデコメアニメ®テンプレートをコピーできます。

お知らせ

- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。
- 保存先フォルダのファイル数がいっぱいのときは、自動的に新しいフォルダが作成されて保存されます。静止画、デコメアニメ®テンプレート以外の場合は、コピーが完了すると「保存先フォルダXXXXXXXに変更しました」(XXXXXXXはフォルダ名)と表示されます。
- 以下のファイルはコピーできません。
  - ･「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したファイル
  - ･FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  - ･再生制限付きファイル
  - ･部分保存したｉモーションまたは着うたフル®
  - ･ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータ
- microSDカードへコピーすると、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

microSDカード内のファイルをFOMA端末にコピーする

microSDカード内にあるファイルを、本体内の「ｉモード」フォルダにコピーします。(デコメ絵文字®の場合は「デコメ絵文字」フォルダの「お気に入り」フォルダに、デコメアニメ®テンプレートの場合は「本体」フォルダにコピーされます。)

1 **コピーしたいデータの機能メニュー ▶本体へコピー･1件コピー･選択コピー･全件コピー**

- 「選択コピー」の場合は、コピーしたいファイルを選択して[✉](完了)を押します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。

お知らせ

- コピー処理中はmicroSDカードを抜かないでください。
- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイル、MFiファイル、SMFファイル、PDFデータ、デコメアニメ®テンプレートをコピーできます。ただし、100Kバイトを超えるメロディ、500Kバイトを超えるSWFファイルはコピーできません。

お知らせ

- JPEGファイル、GIFファイル、SWFファイル、MP4ファイルのみ複数コピーできます。ただし、ASF形式のｉモーション、VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)のｉモーション、10Mバイトを超えるｉモーションは、複数コピーできません。
- ｉモーションコピー時はｉモーションを切り出し･変換･縮小を行うため、ファイルサイズが増減することがあります。ただし、映像コーデックがH.264のｉモーションは変換、縮小を行わずコピーします。
- VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)のｉモーションをコピーする場合、QVGA(320×240)に変換します。VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)のｉモーション、ASFファイル、10Mバイトを超えるファイルをコピーすると、時間がかかる場合があります。
- 10Mバイトを超えるｉモーションで以下の場合はコピーできません。
  - ･映像コーデックがH.264のとき
  - ･音声コーデックがAAC、AAC+(HE-AAC)、Enhanced aacPlusのとき
  - ･動画像ビットレートが制限を超えるとき
  - ･サーチ(早送り･早戻し)ができないとき
  - ･VGA(640×480)、HVGAワイド(640×352)、QVGA(320×240)、QCIF(176×144)、Sub-QCIF(128×96)以外のファイルのとき

  上記の条件以外でもｉモーションによってはコピーできない場合があります。
- ASFファイルをコピーすると、再生時間が長くなる場合があります。
- コピー後のファイルのタイトルはmicroSDカード内で設定したタイトルになります。ただし、microSDカード内でタイトルを設定していない場合や初期タイトルが不明な場合はファイル名になります。

＜コンテンツ移行対応＞

著作権のあるファイルを移動する

FOMA端末内のファイルをmicroSDカードへ移動する

サイトから取得した著作権のあるファイルを暗号化してmicroSDカードに移動します。移動したファイルは「移行可能コンテンツ」フォルダ内の保存先フォルダ（着うたフル®の場合は保存先に設定されているフォルダ）に保存されます。
microSDカードに移動したファイルには、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

- 移動できるファイルは以下のファイルです。

·静止画　·ｉモーション　·マチキャラ
·メロディ　·きせかえツール　·PDFデータ
·着うたフル®　·画面メモ

1 移動したいデータの機能メニュー▶microSDへ移動▶OK

- 画面メモの場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択します。

お知らせ

- 取得元アイコンが「 」のファイルのみmicroSDカードへ移動できます。
- 部分保存したデータや、取得完了の画面の画面メモはmicroSDカードへ移動できません。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。

microSDカード内のファイルをFOMA端末へ移動する

microSDカード内の著作権のあるファイルをFOMA端末に移動します。

1 移動したいデータの機能メニュー▶本体へ移動

- 画面メモの場合は確認画面が表示されます。「YES」を選択します。
- 保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。

お知らせ

- 著作権のあるファイル（ファイル制限あり）で本体へ移動「可」または「可（同一機種間）」のファイルのみFOMA端末へ移動できます。また、「可（同一機種間）」のファイルはP-04B以外のFOMA端末には移動できません。本体へ移動「可」「不可」「可（同一機種間）」を確認するには「ピクチャ情報」「ｉモーション情報」「マチキャラ情報」「メロディ情報」「きせかえツール情報」「ドキュメント情報」「ファイル情報」「ミュージック情報」参照。
- 他の機能で設定しているファイルを移動すると、設定が解除されます。
- 移動したファイルは「ｉモード」フォルダに保存されます。ただし、マチキャラはデータBOXの「マチキャラ」に、きせかえツールはデータBOXの「きせかえツール」に、着うたフル®は「ｉモード」フォルダの「初期フォルダ」に、画面メモはｉモードブラウザ、フルブラウザそれぞれの「画面メモ」フォルダに保存されます。

FOMA端末内のｉアプリをmicroSDカードへ移動する

ｉアプリによってはmicroSDカードに移動して保存しておけるものがあります。
microSDカードに移動したｉアプリは起動することはできません。再度、FOMA端末に移動すると起動できます。ただし、移動したときと同じFOMAカードを使用している場合のみ操作できるものと、移動したときと同じFOMAカード、機種を使用している場合のみ操作できるものがあります。

1 ソフト一覧画面▶iα(機能)▶microSDへ移動▶YES

microSDカード内のｉアプリをFOMA端末へ移動する

microSDカード内のｉアプリをFOMA端末に移動します。

1 ソフト一覧画面▶iα(機能)▶本体へ移動▶YES▶OK

データを一括してバックアップ／復元する

FOMA端末内に登録している電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、Bookmark、FOMA端末の設定内容・情報を一括してmicroSDカードにバックアップします。バックアップデータはそれぞれの分類ごとに1ファイルとして保存されます。復元する場合も、それらのデータを一括してFOMA端末に復元します。

- 「microSDへバックアップ」を行うごとにバックアップデータは削除され、新しいバックアップデータが作成されます。
- バックアップは分類のデータを一括して行うため、データが1件も登録されていない分類のデータもバックアップデータが作成されます。そのようなバックアップデータを復元した場合、データが1件も登録されていない分類のデータも上書きされます。
- バックアップ／復元中は圏外と同じ状態になります。
- 以下の機能の設定内容や情報がバックアップ／復元されます。ただし、復元後に一部の設定内容や情報が、お買い上げ時の状態に戻る場合があります。

・リダイヤル	・登録外着信拒否	・添付ファイル自動再生設定
・着信履歴	・メール選択受信設定	・署名
・伝言メモ設定	・送信アドレス一覧	・メッセージ自動表示設定
・文字サイズ設定の「メール」	・受信アドレス一覧	・緊急速報「エリアメール」設定の「受信設定」「ブザー鳴動時間」「マナー／公共モード時設定」
・電話帳指定設定の「指定着信拒否」「指定着信許可」	・自動振分け設定	・アラーム
・非通知着信設定	・メールグループ	・ユーザ辞書
	・ｉモード問い合わせ設定	
	・受信表示設定	
	・添付ファイル優先受信	

データをmicroSDカードにバックアップする

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶バックアップ／復元▶microSDへバックアップ

- FOMA端末内にバックアップ可能なデータが1件も登録されていない場合は、バックアップできません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

- 「Cancel」を選択してバックアップを中止した場合、それまでに作成されたバックアップデータは削除されます。
- バックアップが完了すると、バックアップデータの保存日時が表示されます。

お知らせ

- バックアップ中に電池がなくなった場合などは、バックアップが中断され、それまでに作成されたバックアップデータがバックアップ中断データとして保存されます。ただし、続きからバックアップを再開することはできませんので、バックアップを完了させるには、最初からやり直してください。
- バックアップ中にmicroSDカードの容量がいっぱいになった場合は、それまでに作成されたバックアップデータを削除してから、バックアップを中断します。この場合、microSDカード内の不要なデータを削除するなどしてから、再度バックアップを行ってください。
- すでにバックアップデータやバックアップ中断データがmicroSDカード内にある場合は、バックアップに時間がかかることがあります。

バックアップデータをFOMA端末に復元する

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶バックアップ／復元▶本体へ復元

- microSDカード内にバックアップデータがない場合や、バックアップ中断データしかない場合は復元できません。

2 端末暗証番号を入力▶YES

復元が終了すると、復元された設定内容・情報が表示されます。
●(OK)またはCLR、⌒を押すと学習履歴を作成するかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると「学習履歴作成」を行います。

- 「Cancel」を選択して復元を中止した場合、すでに復元済みのデータはFOMA端末内に登録された状態となりますが、続きからは復元できません。すべてのデータを復元するには、再度「本体へ復元」を行ってください。
- 送信メールが1件もないバックアップデータを復元した場合は、学習履歴を作成するかどうかの確認画面は表示されません。

つづく↪

お知らせ

- FOMA端末の容量よりバックアップデータの容量が大きい場合は、バックアップデータの一部は復元されません。
- 本FOMA端末に未対応のデータがバックアップデータに含まれる場合は、未対応のデータは復元されません。
- P-04B以外のFOMA端末に復元した場合、すべてのバックアップデータ、設定内容・情報が復元されないことがあります。

バックアップデータを削除する

microSDカード内のバックアップデータ、またはバックアップ中断データを削除します。

1 **MENU▶LifeKit▶microSD▶バックアップ／復元▶バックアップデータ削除▶端末暗証番号を入力▶YES**

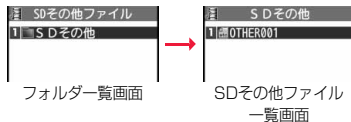
<SDその他ファイル>

非対応ファイルを管理する

FOMA端末では対応していないさまざまなファイルやサイトからダウンロードしたBMP形式とPNG形式のファイルをmicroSDカードに保存できます。(P.159、P.203参照)
保存したファイルはｉモードメールに添付して送信したり、パソコンなどで確認できます。

1 **MENU▶データBOX▶SDその他ファイル▶フォルダを選択**

- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.395参照。
- FOMA端末でファイルの内容は表示できません。

フォルダ一覧画面　SDその他ファイル一覧画面

SDその他ファイル一覧画面の機能メニュー

ｉモードメール添付		ファイルを添付してｉモードメールを作成します。P.142手順2へ進みます。 ●✉(　)を押してもｉモードメールを作成できます。
ファイル情報		ファイル名やファイル種別などを表示します。
フォルダ移動		
	1件移動	P.350参照
	選択移動	P.350参照
	全件移動	P.350参照
コピー		
	1件コピー	P.351参照
	選択コピー	P.351参照
	全件コピー	P.351参照
タイトル編集		P.351参照
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。
削除		
	1件削除	P.351参照
	選択削除	P.352参照
	全削除	P.352参照

<microSDフォーマット>
microSDカードをフォーマットする

microSDカードを初めて利用するときには、フォーマット(初期化)する必要があります。フォーマットは必ずP-04Bで行ってください。パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶i α(機能)▶microSDフォーマット▶端末暗証番号を入力▶YES

お知らせ

- フォーマット中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- microSDフォーマット中に✉(中止)や⌒を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合はフォーマットは中止されます。再度フォーマットしてください。
- フォーマットを中止したmicroSDカードに保存したデータは不確定となります。
- 未対応のメモリーカードはフォーマットできません。
- フォーマット後にmicroSDカードにデータを保存するときは、必要なフォルダが自動的に作成されます。

<microSDチェックディスク>
microSDカードをチェックする

microSDカードのチェックを行い、修復します。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶i α(機能)▶microSDチェックディスク▶YES

お知らせ

- チェックディスク中にmicroSDカードを取り外さないでください。FOMA端末、microSDカードの故障の原因となります。
- フォーマットされていないmicroSDカードや、未対応のメモリーカードはチェックディスクできません。
- microSDカードのチェックディスクを行った場合、microSDカードの状態により正常に修復できなかったり、チェックディスク前に存在したデータが削除されたり、カード全体が初期化されることがあります。
- microSDチェックディスク中に✉(中止)や⌒を押したり、音声電話、テレビ電話の着信があった場合は、チェックディスクは中止されます。
- microSDチェックディスクを中断した場合、修復中のデータが残る場合があります。このような場合、再度チェックディスクを行ってください。
- microSDカード内のデータにより、時間がかかる場合があります。

<microSD情報表示>
microSDカードの容量を表示する

microSDカード全体の容量と保存容量(目安)を表示します。

1 MENU▶LifeKit▶microSD▶microSDデータ参照▶i α(機能)▶microSD情報表示

お知らせ

- microSDカードにはカード用のシステムファイルが内蔵されているため、データを保存していなくても保存容量はmicroSDカードに表示された容量より少なくなります。

microSDカードをパソコンなどで使う

microSDカードをmicroSDカードアダプタに接続すると、SDカード対応のパソコンなどで利用できます。
microSDカードアダプタをお持ちでない場合は、別途お求めいただく必要があります。
microSDカードアダプタの取り付けかたなどは、microSDカードアダプタの取扱説明書をご覧ください。

FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして使う

microSDカードをFOMA端末に挿入した状態でパソコンに接続し、microSDカード内のデータを読み込み／書き込みできます。
以下の機器が必要です。

- 接続ケーブル：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）
- パソコン：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠）が使用可能なパソコン
- 対応OS：Windows XP、Windows Vista、Windows 7（各日本語版）

1 MENU▶**設定／サービス**▶**その他**▶**USBモード設定**▶**microSDモード**

- 「microSDモード」に設定すると、待受画面に「SD MODE」が表示されます。
- パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存する場合は「MTPモード」に設定します。「MTPモード」に設定すると、待受画面に「MTP」が表示されます。
- パケット通信、64Kデータ通信、データ送受信（OBEX™通信）やUSBハンズフリー対応機器での通話で使用する場合は「通信モード」に設定します。

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02（別売）で接続する**

パソコンがmicroSDカードを認識します。

- デスクトップに「USB」が表示され、待受画面に「SD」が表示されます。また、microSDカードを装着中は「SD」が表示されます。

お知らせ

- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていない場合や、FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

お知らせ

- データの読み込み／書き込み中は本機能を設定できません。また、読み込み／書き込み中に「設定リセット」、「端末初期化」は行わないでください。microSDカードの故障の原因となります。
- 「通信モード」に設定し、パソコンに接続して通信中は「USBモード設定」を変更できません。
- 本機能を「MTPモード」に設定していると、「設定リセット」を行ってもリセットされません。また、電池を取り外したあと電源を入れると「通信モード」に設定されます。
- FOMA端末から読み込み／書き込み中はパソコンからは読み込み／書き込みできません。また、パソコンからの読み込み／書き込み中はFOMA端末からは読み込み／書き込みできません。
- ドコモケータイdatalinkを使用する場合は、「通信モード」にしてください。

microSDカードのフォルダ構成

FOMA端末はmicroSDカード内に次のようなフォルダを作成し、ファイルをそのフォルダ内に保存します。パソコンなどからmicroSDカードにファイルを書き込んで使用する場合は、指定のフォルダ構成、ファイル名で書き込む必要があります。

aaa　　：100～999の3桁の半角数字（フォルダ名に使用した数字とそのフォルダに保存するファイル名に使用する数字は同じにしてください。）
bbb　　：001～999の3桁の半角数字
ccc　　：001～FFFの3文字の半角英数字（16進数※）
ddddd　：00001～65535の5桁の半角数字
eeee、ffff：0001～FFFFの4文字の半角英数字（16進数※）
gggg　：0001～9999の4桁の半角数字
###　　：拡張子

※ 10ごとに繰り上がる10進数とは異なり、16進数とは16ごとに繰り上がる数えかたです。0～9の半角数字とA～Fの半角英字を用いて表します。

- PDFファイル、SDその他ファイル、ムービーファイル、Word、Excel、PowerPointファイルの場合、パソコンでファイル名を64バイト（拡張子を含む）までの自由な文字で書き込むこともできます。ただし、以下の文字は使用できません。
「¥」、「/」、「:」、「*」、「?」、「"」、「<」、「>」、「|」

データ管理

DCIM(DCF規格静止画用フォルダ)
aaa_PANA
Paaagggg.###(拡張子はJPG、GIF)

MISC(DPOF用フォルダ〔P.409「DPOF設定」を設定するときに自動作成されるフォルダです。〕)

SD_VIDEO(動画用フォルダ)
PRLccc(ｉモーション用フォルダ)
MOLccc.###(拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4)
MGR_INFO(ビデオ管理情報フォルダ)
PRGccc(ビデオ･HDDレコーダー動画用フォルダ)

DEVPROF(HDDレコーダー管理ファイル用フォルダ)

PRIVATE
DOCOMO
STILL(DCF規格外静止画フォルダ)
SUDbbb
STILgggg.###(拡張子はJPG、GIF、SWF)
DOCUMENT(PDF用フォルダ)
PUDbbb
PDFDCbbb.PDF
RINGER(メロディ用フォルダ)
RUDbbb
RINGgggg.###(拡張子はMLD、SMF)
TORUCA(トルカ用フォルダ)
TRCbbb
TORUCbbb.TRC
MMFILE(SD-VIDEO規格外動画用フォルダ〔AAC形式の音楽データ含む〕)
MUDbbb
MMFgggg.###(拡張子は3GP、SDV、ASF、MP4)
WM_SYSTEM
WM
DECOIMG(デコメ絵文字®用フォルダ)
DUDbbb
DIMGgggg.###(拡張子はJPG、GIF)
OTHER(SDその他ファイル用フォルダ)
OUDbbb
OTHERbbb.###(拡張子はFOMA端末が認識できない3桁までの半角英字)
MOVIE(ムービー用フォルダ)
MVUDbbb
MOVIEbbb.###(拡張子はWMV、WMA、WVX、WAX、ASF、ASX)
DECO_A_T(デコメアニメ®テンプレート用フォルダ)
DTUDbbb
DEATgggg.VGT
BACKUP(一括バックアップ用フォルダ)
SD_PIM
ADDRESS(電話帳一括バックアップ用フォルダ)
ADDRESS.VCF
SCHEDULE(スケジュール、ToDo一括バックアップ用フォルダ)
SCHEDULE.VCS
MAIL
INBOX(受信メール一括バックアップ用フォルダ)
INBOX.VMG
SENTBOX(送信メール一括バックアップ用フォルダ)
SENTBOX.VMG
OUTBOX(未送信メール一括バックアップ用フォルダ)
OUTBOX.VMG
NOTE(テキストメモ一括バックアップ用フォルダ)
NOTE.VNT
BOOKMARK(Bookmark一括バックアップ用フォルダ)
BOOKMARK.VBM
SETTING(設定情報一括バックアップ用フォルダ)
SETTING.VNT
TABLE(付加情報フォルダ)
MEIGROUP
PMC
DOCUMENT(Word、Excel、PowerPoint用フォルダ)
DOCbbb
DOCDCbbb.###(拡張子はXLS、DOC、PPT)
TABLE
DOCUMENT

つづく

SD_PIM(電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、Bookmark用フォルダ)
└PIMddddd.###(拡張子は電話帳:VCF、スケジュール・ToDo:VCS、メール:VMG、テキストメモ:VNT、Bookmark:VBM)

SD_AUDIO(SDオーディオ用フォルダ)

SD_BIND(iアプリや移行可能コンテンツ用フォルダ)
└SVCddddd
　└eeeeffff

■microSDカードに保存可能な件数・時間

ファイル	フォルダ	保存可能数・時間
静止画(DCF規格)	DCIM	P.554参照
動画(iモーション)	SD_VIDEO	P.556参照
動画(ビデオ)	SD_VIDEO	P.263参照
SDオーディオ	SD_AUDIO	P.285参照
静止画(DCF規格外)	STILL	約65500件
動画(SD-VIDEO規格外)	MMFILE	
ムービー	MOVIE	
メロディ	RINGER	
PDFデータ	DOCUMENT	
Word、Excel、PowerPointファイル	PMC	
トルカ	TORUCA	
デコメ絵文字®	DECOIMG	
デコメアニメ®テンプレート	DECO_A_T	
SDその他ファイル	OTHER	
電話帳、スケジュール、ToDo、メール、テキストメモ、Bookmark	SD_PIM	
iアプリ、移行可能コンテンツ	SD_BIND	

●使用するmicroSDカードの容量によって、保存件数・時間は変わります。フォルダを追加して保存場所を変えると、より多くのファイルを保存できます。
●ファイルの容量によっては最大件数まで保存できない場合があります。
●microSDカードの空き容量と保存容量は「microSD情報表示」で確認できます。

お知らせ

●お使いのパソコンによってはフォルダ名、ファイル名が小文字で表示される場合があります。
●パソコンの設定で拡張子や隠しフォルダなどが表示されない設定になっている場合は、表示される設定に変更してから操作してください。設定の変更方法についてはお使いのパソコンの取扱説明書またはヘルプをご覧ください。
●microSDカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。P-04BでmicroSDカードを読めなくなることがあります。
●「SD_AUDIO」・「SD_BIND」・「PRGccc」フォルダ内のファイルは暗号化されているため、パソコンで見ることはできません。
●パソコンで「PRGccc」フォルダ内にデータを保存すると、FOMA端末でビデオを削除できなくなる場合があります。
●パソコンでファイルの削除や上書き、書き込みを行う場合は、一度使用したファイル名は使用しないでください。例え、そのファイルを削除していたとしても、別のファイル名を使用してください。
●「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルは「microSDへバックアップ」を行うたびにすべて削除され、新しいバックアップデータが作成されます。また、「バックアップデータ削除」を行った場合も、「BACKUP」フォルダ内のフォルダとファイルはすべて削除されます。
●他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示・再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示・再生できない場合があります。
●microSDリーダーライターおよびPCカードリーダーアダプタについては、microSDカードの動作を各メーカにご確認のうえお買い求めください。

フォルダを管理する

データBOX内のデータによっては、それぞれフォルダでデータを管理できるものがあります。

●ミュージックのフォルダ操作についてはP.287参照。
●「移行可能コンテンツ」フォルダの場合は、フォルダ内のデータ一覧画面でも、フォルダ一覧画面の機能メニュー項目が表示されます。

フォルダ一覧画面の機能メニュー

フォルダ追加	ユーザフォルダを新規作成します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ名編集	ユーザフォルダやFOMA端末の「デコメ絵文字」フォルダ内のフォルダ名を編集します。 ▶**フォルダ名を入力** ●FOMA端末内では、全角10文字/半角20文字まで入力できます。 ●microSDカード内では、全角31文字/半角63文字まで入力できます。「移行可能コンテンツ」フォルダ内の場合は、全角10文字/半角20文字まで入力できます。
フォルダ削除	
1件削除	選択しているユーザフォルダを1件削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
選択削除	▶**削除したいユーザフォルダにチェック** ▶[✉](完了)▶**端末暗証番号を入力**▶YES
全削除	ユーザフォルダをすべて削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
フォルダセキュリティ [マイピクチャ・iモーション/ムービー]	端末暗証番号を入力しないとフォルダ内を表示できないように設定します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES フォルダが「 」に変わります。 ●解除する場合も同様の操作を行います。
赤外線全件送信 [マイピクチャ・iモーション/ムービー・メロディ]	P.400参照
フォルダ内全削除 [マイピクチャのみ]	「マイピクチャ」内の「iモード」・「カメラ」・「デコメピクチャ」・「デコメ絵文字」・「自動お預かり」・「ユーザフォルダ」で選択しているフォルダに保存されているすべてのファイルを削除します。 ▶**端末暗証番号を入力**▶YES
プログラム編集 [メロディのみ]	メロディなどを10曲まで選択して、好きな順にプログラム編集します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶**プログラム順<1曲目>~<10曲目>を選択** ▶**フォルダを選択**▶**メロディを選択** ●登録済みのメロディを解除する場合は「メロディ解除」を選択します。 ▶**操作を繰り返してプログラム編集を完了させる** ▶[✉](完了)
プログラム解除 [メロディのみ]	編集したプログラムをすべて解除します。「プログラム」を選択中に表示されます。 ▶YES
保存先フォルダ選択	microSDカードに保存する際の保存先フォルダを設定します。 ▶YES
保存容量確認	保存容量(目安)/件数を表示します。 ●[📷TV](保存容量)を押しても表示できます。

お知らせ

<フォルダ追加>
- FOMA端末内では20件まで追加できます。ただし、「iモーション/ムービー」内は19件までです。
- microSDカード内で以下の場合はフォルダ追加できません。
  - ・「ピクチャ」内フォルダ数が900件のとき
  - ・「SDビデオ」内フォルダ数が4095件のとき
  - ・「イメージボックス」・「デコメ絵文字」・「ムービー」・「メロディ」・「その他コンテンツ」・「マイドキュメント」・「ドキュメントビューア」・「SDその他ファイル」内フォルダ数が999件のとき

つづく↳

お知らせ

＜フォルダ名編集＞

- フォルダセキュリティが設定されたフォルダは、フォルダ名編集できません。

＜フォルダ削除＞

- フォルダ内のファイルもすべて削除されます。
- microSDカード内では「1件削除」の動作になります。

＜フォルダセキュリティ＞

- 「ｉモード」「カメラ」「自動お預かり」「ユーザフォルダ」「ボイスレコーダー」にのみ設定できます。
- フォルダセキュリティを設定したフォルダを選択すると、端末暗証番号の入力画面が表示されます。端末暗証番号を入力すると、一時的にフォルダセキュリティが解除されます。

＜プログラム編集＞

- プログラムに登録したメロディのファイル名、タイトルや内容を変更したり削除したりすると、プログラムは全解除されます。

＜保存先フォルダ選択＞

- 保存先に設定されたフォルダには以下のアイコンが表示されます。

「 」. . . .「ピクチャ」フォルダ･「SDビデオ」フォルダ内のフォルダ

「 」. . . .「ドキュメントビューア」･「SDその他ファイル」内のフォルダ「デコメ絵文字」フォルダ･「イメージボックス」フォルダ･「ムービー」フォルダ･「メロディ」フォルダ･「マイドキュメント」フォルダ内のフォルダ

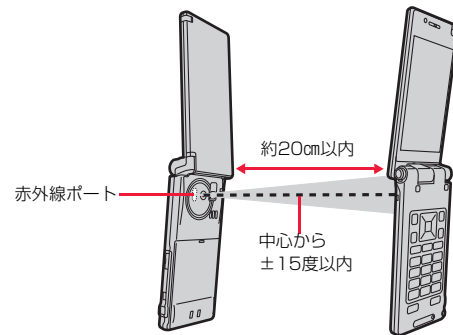
「 」. . . .「きせかえツール」･「マチキャラ」内のフォルダ「移行可能コンテンツ」フォルダ内のフォルダ

「 」. . . .「その他コンテンツ」フォルダ内のフォルダ

- microSDカードの保存先フォルダは、microSDチェックディスクを行ったり、パソコンでフォルダを作成･編集すると、保存先フォルダが変更される場合があります。設定が変更された場合は、再度保存先フォルダを設定してください。

赤外線通信を利用する

FOMA端末はIrMC™バージョン1.1規格に準拠しています。
赤外線通信機能を持つ機器との間でデータを送受信できます。ただし、相手機器によっては送受信できないデータがあります。

- 赤外線の通信距離は、約20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が終わるまで相手側の赤外線ポート部分に向けたままにして動かさないでください。
- FOMA端末を手に持つ場合は、ぶれないようにしっかりと固定させてください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の直下･赤外線装置の近くではその影響により、正常に通信できない場合があります。
- 受信側を先に設定し、30秒以内に送信側の送信を開始します。
- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、ｉモード･メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

■転送できるデータの一覧

転送条件 / 転送可能データ	1件	複数件	全件
電話帳※1	○	×	1000件まで
スケジュール※2	○	×	2500件まで
ToDo	○	×	100件まで
受信メール※3※4	○	×	2500件まで
送信メール※4	○	×	1000件まで
保存メール※4	○	×	20件まで
デコメアニメ®テンプレート	○	×	100件まで
テキストメモ	○	×	20件まで
メロディ※5	○	×	3500件まで
静止画※6※7	○	○	3500件まで
ｉモーション※8	○	○	3500件まで
PDFデータ※5※9	○	×	3500件まで
トルカ※4※5	○	○	495件まで
Bookmark※4	○	×	600件まで
現在地通知先情報	○	×	5件まで

○:転送できます。　×:転送できません。

※1　自局番号も含みます。
※2　祝日、休日、ｉコンシェルでダウンロードしたｉスケジュールは送受信できません。
※3　エリアメールは別に30件送受信できます。(合計2530件)
※4　フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
※5　ファイルによっては送受信できません。
※6　Flash画像も含みます。
※7　自作アニメやワンセグで録画した静止画は送受信できません。
※8　ASFファイルやワンセグで録画したビデオは送受信できません。
※9　ｉモードしおりが消去される場合があります。

■受信したデータの保存場所や保存順

データ		保存場所／保存順
電話帳	1件受信	電話帳のメモリ番号「010」～「999」の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。「010」～「999」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」)の空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号に登録されます。
	全件受信	送信元と同じメモリ番号で登録されます。
スケジュール	1件受信	スケジュールの開始日時に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時に登録されます。
ToDo	1件受信	ToDoリストの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じ順番で登録されます。
受信メール	1件受信	「受信フォルダ一覧」の「受信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
送信メール	1件受信	「送信フォルダ一覧」の「送信BOX」フォルダに、送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ日時で登録されます。
保存メール	1件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
	全件受信	送信元と同じ日時で登録されます。
デコメアニメ®テンプレート	1件受信	「メール」内の「テンプレート」内の「デコメアニメ」内の「本体」フォルダに登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で登録されます。
テキストメモ	1件受信	<未登録>の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。

つづく

データ		保存場所／保存順
メロディ	1件受信	「データBOX」内の「メロディ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
静止画	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「マイピクチャ」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
ｉモーション	1件受信／複数件受信	「データBOX」内の「ｉモーション／ムービー」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
PDFデータ	1件受信	「データBOX」内の「マイドキュメント」内の「ｉモード」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
トルカ	1件受信／複数件受信	「トルカフォルダ」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
Bookmark	1件受信	「Bookmark」フォルダの1番目に登録されます。
	全件受信	送信元と同じフォルダに同じ順番で登録されます。
現在地通知先情報	1件受信	＜未登録＞の1番目に登録されます。
	全件受信	送信元に登録されている順番で、1番目から順に登録されます。

お知らせ

- 以下のデータは送信できません。
  ・FOMA端末外への出力が禁止されているファイル
  ・部分保存ファイル
  ・FOMAカード内の電話帳やSMS

お知らせ

- お買い上げ時に登録されているデータBOX内のデータは全件送信では送信できません。
- microSDカード内のデータは送信できません。FOMA端末にコピーまたは移動してから送信してください。
- 静止画、ｉモーション、PDFデータのタイトルは、全角9文字/半角18文字、メロディのタイトルは、全角31文字/半角63文字まで送受信されます。
- メールの送信を行った場合、メールに添付されているファイルも送信されます。ただし、種類によっては送信されないことがあります。
- 受信側の端末によってはメールの題名をすべて受信できない場合があります。
- 未取得の添付ファイルがあるメールや、ｉアプリを起動させるリンク情報があるメールはそれらが削除されて送信されます。
- 受信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、「ゴミ箱」フォルダのメール、古い受信メールの順に削除されます。ただし、未読または保護している受信メールは削除されません。
- 送信メールの最大保存件数／最大保存容量を超えた場合は、古い送信メールから順に削除されます。ただし、保護している送信メールは削除されません。
- FOMA端末外への出力が禁止されているファイルを含むデコメアニメ®テンプレートの場合、それらのファイルまたは本文データを削除して送信します。
- 赤外線通信でトルカ(詳細)の送信を行った場合は、詳細も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。その場合、「YES」を選択すると詳細も含めて送信され、「NO」を選択すると詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- FOMA端末外への出力が禁止されているデータを含むトルカ(詳細)の場合は、詳細を取得する前のトルカとして送信されます。
- 指定発信制限を設定中に、電話帳は受信できません。送信の際には、指定発信制限を設定した電話帳データ、自局番号表示のデータを送信できます。
- データの大きさによっては、転送に長い時間がかかることがあります。また、受信できないことがあります。
- 静止画は8Mバイト、ｉモーションは10Mバイト、メロディは100Kバイト、PDFデータは2Mバイト、デコメアニメ®テンプレートは100Kバイト、トルカは1Kバイト、トルカ(詳細)は100Kバイトをそれぞれ超えたデータの場合、登録できません。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01/02(別売)が接続されている場合、赤外線通信ができないことがあります。

お知らせ

- 受信側の端末が対応していないデータは、送信できません。

データを1件または複数件送受信する

赤外線でデータを1件ずつ送受信します。
静止画、iモーション、トルカは複数件送受信できます。

■送受信時のご注意
- シークレットモード時はシークレットデータも送信できます。ただし、シークレット専用モード時はシークレットデータのみ送信できます。
- シークレット登録した電話帳を、シークレットモード／シークレット専用モード中に受信した場合、通常の電話帳として登録されます。
- 2in1のモードがデュアルモード中に電話帳を受信した場合は、電話帳2in1設定を変更できます。
- 電話帳データを1件送信する場合、登録したシークレットコードやボイスダイヤルは送信されません。

データを1件または複数件送信する

1 **送信したいデータの機能メニュー ▶赤外線送信・送信・電話帳送信・1件送信・選択送信**
- 「選択送信」の場合は、送信したいファイルを選択して✉(完了)を押します。

2 **YES**
- 複数件送信の場合は、選択したファイル数分「YES」を選択してファイルを送信します。

データを1件または複数件受信する MENU 7 9

1 **MENU▶LifeKit▶赤外線受信**
- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けたり、マルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.33、P.429参照)

2 **受信▶YES**
- 1件受信後に続けて受信するかどうかの確認画面が表示されます。複数件受信の場合は「YES」を選択します。

お知らせ

- ソフトを起動する指示を受信した場合、対応するソフトがダウンロード済みであればそのソフトが起動します。ただし、iアプリ To 設定で「赤外線からiアプリ To」にチェックを付けていない場合は起動しません。

データを全件送受信する

赤外線でデータを全件送受信できます。
全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

■全件送受信時のご注意
- 全件受信を行うと、登録していたデータはシークレットデータや保護データも含めすべて削除され、受信したデータで上書きされます。「シークレットモード」で登録していたデータも削除されます。全データの受信を行う前に、大切なデータが登録されていないことを確認してください。
  ただし、デコメアニメ®テンプレート、データBOX内のデータ、トルカの場合、元のデータは削除されずに追加登録されます。
- 2in1利用中に電話帳を全件受信した場合は、送信側の電話帳2in1設定のまま登録されます。
- 電話帳を全件送信すると「自局番号表示」のデータも一緒に送信されます。受信側の「自局番号表示」は、自局番号以外はすべて書き替わります。メールアドレスも送信側のアドレスに書き替わりますので、受信側のメールアドレスに変更してください。
- 電話帳データを全件送信しても、ボイスダイヤルの情報は送信されません。
- シークレットモード時に限らず「シークレットデータ」として登録されている電話帳も送信されます。送信した「シークレットデータ」は受信側でも「シークレットデータ」として登録されます。
- 受信した電話帳のグループ名も登録されますので、「グループ設定」のデータも上書きされます。
- ToDoに対応していない端末にToDoを全件送信すると、受信側のスケジュールデータがすべて削除されますのでご注意ください。
- 保護されている受信メール、送信メールも送受信されます。
- 対応していないデータが含まれていた場合、受信が中断することがあります。

データを全件送信する

1 送信したいデータの機能メニュー ▶赤外線全件送信・全件送信・電話帳全件送信 ▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶YES

- データBOX内のデータを送信する場合は、送信できないデータが含まれている旨の確認画面が表示されます。送信する場合は、「YES」を選択してください。
- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する MENU 7 9

1 MENU▶LifeKit▶赤外線受信

- 赤外線受信機能をデスクトップに貼り付けたり、マルチボタン長押し登録に登録しておくこともできます。(P.33、P.429参照)

2 全件受信▶端末暗証番号を入力 ▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力 ▶YES▶YES

お知らせ

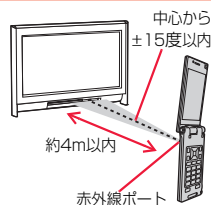
- 静止画が登録された電話帳やファイルが添付されたメールを受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

赤外線リモコン機能を利用する

iアプリを起動してFOMA端末をテレビのリモコンとして使用できます。

- リモコン機器を利用する場合は、機器に対応したソフトをダウンロードする必要があります。(お買い上げ時に登録されている「Gガイド番組表リモコン」は赤外線リモコン機能に対応しています。)また、リモコンのボタン操作はソフトにより異なります。
- 機器によっては操作できないものもあります。
- 対応機器や周囲の明るさにより、通信に影響がある可能性があります。
- セルフモード設定中は、赤外線リモコンを利用できません。

リモコン操作について

- 機器の正面にFOMA端末の赤外線ポートを向けて操作してください。操作ができる範囲は正面で約4m以内です。
- 赤外線放射角度は中心から±15度以内です。

<電話帳画像転送> MENU 2 6

通信の設定を行う

赤外線、iC通信、microSDカード、ドコモケータイdatalinkで電話帳を転送したときに、登録されている静止画もあわせて転送するかどうかを設定します。

1 MENU▶電話帳▶電話帳設定▶電話帳画像転送 ▶する・しない

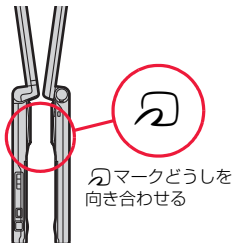
<iC送信>

iC通信機能について

iC通信とは、FeliCa リーダー／ライター機能を利用して他のFOMA端末とデータを送受信できる機能です。iC通信機能対応の他のFOMA端末と、マークどうしを向き合わせることでデータを送受信します。ただし、相手のFOMA端末によっては送受信できないデータがあります。

- 転送できるデータの種類と転送条件などは赤外線通信と同様です。(P.397参照)ただし、複数件送信および、デコメアニメ®テンプレートとデータBOX内のデータの全件送信はできません。
- 「ICカードロック」を設定中はiC通信はできません。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくい場合があります。その場合は、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。

マークどうしを向き合わせる

- 通信中は、圏外と同じ状態になるため、音声電話、テレビ電話、i モード･メールなどのパケット通信、データ通信などは利用できません。

データを1件送受信する

iC通信でデータを1件ずつ送受信します。

- P.399「■送受信時のご注意」もご覧ください。

データを1件送信する

- 充電中はご利用できません。

1 送信したいデータの機能メニュー ▶iC送信･送信･電話帳送信▶YES

データを1件受信する

- マルチタスク中はご利用できません。

1 待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる▶YES

データを全件送受信する

iC通信で電話帳、スケジュール、ToDo、テキストメモ、Bookmark、メール、トルカ、現在地通知先情報のデータを全件送受信できます。全件送信するには、認証パスワード(任意の4桁の番号)の入力が必要です。受信側でも同じ認証パスワードの入力が必要です。

- P.399「■全件送受信時のご注意」もご覧ください。

データを全件送信する

- 充電中はご利用できません。

1 送信したいデータの機能メニュー ▶iC全件送信･全件送信･電話帳全件送信 ▶端末暗証番号を入力▶認証パスワードを入力▶YES

- 認証パスワードは、任意の4桁の番号を入力してください。

データを全件受信する

- マルチタスク中はご利用できません。

1 待受画面を表示した受信側端末の マークと送信側端末の マークを向き合わせる

2 YES▶端末暗証番号を入力 ▶送信側で入力した認証パスワードと同じ番号を入力

お知らせ

- 静止画が登録された電話帳を受信したとき、同じファイルが複数ある場合は1つだけ登録されます。

<ボイスレコーダー>

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音する機能です。会議中の音声などをメモ代わりに録音できます。

- ムービーモードで「撮影種別設定」を「音声のみ」に設定した場合と同様の機能です。
- 保存した音声は「データBOX」の「ｉモーション／ムービー」から再生します。再生方法や再生中の操作についてはP.360参照。
- 録音時間の目安についてはP.555参照。

1 MENU▶LifeKit▶ボイスレコーダー

ボイスレコーダー
録音画面

2 ●（ 録音 ）、Оまたは◙を押す

録音を開始します。

3 ●（ 終了 ）、Оまたは◙を押す

録音を終了します。ボイスレコーダー保存確認画面が表示されます。

- MENU（ 再生 ）を押すと、録音した音声を再生します。

4 ●（ 保存 ）、Оまたは◙を押す

お知らせ

- 録音開始時・終了時にはマナーモードなどの設定に関わらず録音開始音・終了音が鳴ります。録音開始音・終了音の音量は変更できません。

ボイスレコーダー録音画面の機能メニュー

容量設定		▶項目を選択 **メール制限(小)** . . . 500Kバイトまで録音できます。 **メール制限(大)** . . . 2Mバイトまで録音できます。 **長時間** . . . . 長時間録音できます。microSDカードに保存します。
保存設定		
	保存先設定	録音した音声の保存先を設定します。 「本体」のときは「ｉモーション／ムービー」フォルダ内の「ボイスレコーダー」に、「microSD」のときは「その他コンテンツ」の「保存先フォルダ選択」で設定したフォルダ内に保存されます。 ▶本体・microSD
	自動保存設定	録音終了後、自動的に保存するかどうかを設定します。 ▶ON・OFF
	ファイル制限	P.241参照
保存容量確認		保存容量（目安）／件数を表示します。

ボイスレコーダー保存確認画面の機能メニュー

再生		P.402参照
保存		P.402参照
メール添付／ブログ投稿		
	ｉモードメール添付	録音した音声を保存し、ｉモードメールに添付します。P.142手順2へ進みます。 ●✉（ ✉ ）を押してもｉモードメールを作成できます。

	ブログ投稿	録音した音声を保存し、ブログに投稿します。 P.207「登録したサイトにファイルをアップロードする」手順2へ進みます。
保存先設定		P.402参照
ファイル制限		P.241参照
取り消し		録音した音声を保存しません。

<PDF対応ビューア>

PDFデータを表示する

登録されているPDFデータを表示します。

1 [MENU]▶**データBOX**▶**マイドキュメント**▶**フォルダを選択**▶**PDFデータを選択**

- フォルダ一覧画面で[MENU]を押すごとに、FOMA端末とmicroSDカードのフォルダが切り替わります。
- PDFデータ一覧画面で[カメラ/TV]（ 切替 ）を押すごとに表示方法を変更します。

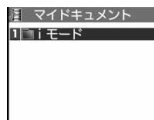
フォルダ一覧画面　→　PDFデータ一覧画面

- 「移行可能コンテンツ」フォルダ内のPDFデータは表示できません。
- フォルダ一覧画面の機能メニューはP.395参照。
- プレビュー画像が表示できないときは以下の画像が表示されます。

表示不可

プレビュー非対応
（「 」や「 」のPDFデータ）

プレビュー非対応
（「 」のPDFデータ）

- PDFデータにパスワードが設定されているときはP.204参照。

■**PDFデータ表示中の操作**

- 機能メニューから操作する場合はP.404参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	[上]
下スクロール	[下]
左スクロール	[左]
右スクロール	[右]
前のページ	[MENU]、[7]、[▲]
次のページ	[カメラ/TV]、[9]、[▼]
ズームアウト	[1]
ズームイン	[3]

操作	ボタン操作
全体表示	[2]
検索	[5]
前を検索	[4]
次を検索	[6]
しおり表示	[8]
しおりの追加	[8] （1秒以上）
ボタン操作ガイド	[メール]

お知らせ

- 本体･microSDカード内のデータが多い場合、アクセスに時間がかかることがあります。また、PDFデータによっては表示に時間がかかる場合があります。
- データによっては、正しく表示されないことがあります。
- 部分的にダウンロードしたPDFデータを表示中に、ダウンロードしていないページを表示しようとすると、そのページをダウンロードします。

PDFデータ一覧画面の機能メニュー

iモードメール添付		PDFを添付してiモードメールを作成します。 P.142手順2へ進みます。 ●[メール]（ ）を押してもiモードメールを作成できます。
ドキュメント情報		PDFデータのタイトル、保存日時などを表示します。
フォルダ移動		
	1件移動	P.350参照
	選択移動	P.350参照
	全件移動	P.350参照

microSDへ移動	P.388参照
本体へ移動	P.388参照
コピー	
1件コピー	P.351参照
選択コピー	P.351参照
全件コピー	P.351参照
microSDへコピー	P.386参照
本体へコピー	P.387参照
タイトル編集	P.351参照
ソート	P.351参照
デスクトップ貼付	P.33参照
赤外線送信	
1件送信	P.399参照
全件送信	P.400参照
iC送信	P.401参照
保存容量確認	保存容量(目安)／件数を表示します。
削除	
1件削除	P.351参照
選択削除	P.352参照
全削除	P.352参照

PDFデータ表示中の機能メニュー

ズームイン	PDFデータ表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	PDFデータ表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
ページ移動	PDFデータ内の他のページに移動します。 ▶**移動したいページを選択** ●「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力して「OK」を選択すると指定したページへ移動できます。
検索	指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、黄緑色にマーキングされます。 ▶**検索**▶**検索文字列の欄を選択** ▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック**▶[✉](検索) ●「前を検索」や「次を検索」を選択すると、同じ条件で続けて検索できます。
しおり／マーク	
しおり表示	P.405参照
しおりの追加	現在表示しているページにしおり(iモードしおり)を設定します。しおりを選択して目的のページを簡単に表示できます。10件まで設定できます。 ▶**YES**▶**タイトルの欄を選択**▶**タイトルを入力**▶**OK** ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。 ●しおりがいっぱいのときはP.406参照。
マーク表示	P.406参照
マークの追加	現在表示しているページ番号とページ内の位置をマークとして登録します。ポイントとなる箇所の目印などとして利用できます。10件まで設定できます。 ▶**YES** ●マークがいっぱいのときはP.406参照。
表示	

	表示モード	PDFデータの表示方法を変更します。 ▶表示方法を選択 ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力して「OK」を選択すると指定した倍率で表示できます。 ●倍率指定で指定できる倍率は8～1000%までです。 ●表示方法を変更して保存すると、次に起動したときは保存したときの倍率で表示されます。
	表示を回転	▶右90°回転・左90°回転
	ページレイアウト ビューア起動時 単一ページ	PDFデータの表示レイアウトを変更します。 ▶単一ページ・連続ページ・見開きページ
	リンク表示	PDFデータ内に設定されているリンクを表示します。リンクの種類には内部リンク(表示中のPDFデータ内に設定されているリンク)、Web To、Mail To、Phone To／AV Phone Toがあります。 ▶リンクを選択 ●画面内に複数のリンクがある場合は、[O]で選べます。 ●内部リンクを選択するとPDFデータ内のリンクされているページへ移動できます。その他のリンクについてはP.208参照。
	表示情報設定 ビューア起動時 表示する	PDFデータを表示する際に、表示倍率、ページ番号、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶項目を選択▶表示する・表示しない
	ドキュメント情報	P.403参照
保存		P.406参照
残り全てを取得		ページ単位で部分的にダウンロードしたPDFデータや、通信が途中で切断されダウンロードに失敗したPDFデータなどの、ダウンロードしていない部分をすべてダウンロードします。 ▶YES

画面切り出し	画面の一部を切り出し、JPEG形式の画像として保存します。 ▶[O](選択)▶YES▶フォルダを選択 ●保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。
iモードメール添付	PDFを添付してiモードメールを作成します。 P.142手順2へ進みます。

お知らせ

<検索>
- 各検索条件の動作は次のとおりです。
  大文字小文字を区別：大文字、小文字を区別して検索します。
  単語にマッチ：単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
  逆向きに検索：「次を検索」をしたとき、開始したページから先頭ページ方向へ検索を進めます。
  '?'をワイルドカードとする：検索文字列の欄に入力した「?」マーク(半角)の部分は任意の文字として検索条件に設定します。
  現在のページ内で検索：現在表示中のページ内でのみ検索します。

<ページレイアウト>
- 部分的なPDFデータの場合はページレイアウトの変更はできません。

<画面切り出し>
- PDFデータのセキュリティ設定によっては、画面の切り出しができない場合があります。

しおり表示

PDFデータに設定されているしおりと追加で設定したiモードしおりを一覧表示します。
しおりを選択すると設定されているページを表示できます。

1 **PDFデータ表示中▶[iα](機能)▶しおり／マーク▶しおり表示▶しおり・iモードしおり▶しおりを選択**

- あらかじめ設定されているしおりには階層が分かれているものがあります。[iα](進む)を押すと、下階層のしおりを表示できます。ただし、3階層目以降はすべて3階層目に表示されます。

ｉモードしおり一覧表示中の機能メニュー

タイトル編集		▶タイトルを入力 ●全角64文字/半角128文字まで入力できます。
削除		
	1件削除	▶YES
	選択削除	▶削除したいしおりにチェック▶[メール]（完了）▶YES
	全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

マーク表示

PDFデータに登録されているマークのページと位置を一覧表示します。
マークを選択すると登録されているマークのページを表示できます。

1 **PDFデータ表示中▶[iα]（機能）▶しおり／マーク▶マーク表示▶マークを選択**

マーク一覧表示中の機能メニュー

1件削除	▶YES
選択削除	▶削除したいマークにチェック▶[メール]（完了）▶YES
全削除	▶端末暗証番号を入力▶YES

保存

PDFデータを保存します。ダウンロードした新たなページや、しおり・マークの追加を保存できます。
容量は他のデータと共通で、合わせて最大3500件保存できますが、データ量により保存件数は少なくなります。（P.557参照）

1 **PDFデータ表示中▶[iα]（機能）▶保存▶YES**

一度FOMA端末またはmicroSDカードに保存しているPDFデータの場合は、保存するたびに上書き保存されます。（手順2の操作は不要です。）
FOMA端末またはmicroSDカードに保存されていないPDFデータの場合は、新規保存されます。

- サーバ側の変更により最初のページから再度ダウンロードしたPDFデータの場合は、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「YES」を選択すると上書き保存されます。「NO」を選択すると新規保存されます。

2 **保存したいフォルダを選択**

- 保存しているデータがいっぱいのときはP.205参照。

しおり・マークがいっぱいのときは

すでにしおり･マークが10件設定されているPDFデータにしおり･マークを追加しようとした場合や、しおり･マークが11件以上設定されているPDFデータを保存しようとした場合は、不要なしおり･マークを削除してから追加／保存するかどうかの確認画面が表示されます。

1. YES
2. 削除するしおり･マークを選択▶YES
   または
   削除するしおり･マークにチェック▶[メール]（完了）▶YES
   - 「完了」が表示されるまでチェックを付けます。

データ管理

＜ドキュメントビューア＞

Word、Excel、PowerPointファイルを表示する

microSDカードに保存した、Microsoft WordファイルやMicrosoft Excelファイル、Microsoft PowerPointファイルを表示します。（P.392参照）

■表示できるドキュメントの種類

ドキュメントの種類	拡張子
Excel	XLS
Word	DOC
PowerPoint	PPT

1 MENU▶データBOX▶ドキュメントビューア▶フォルダを選択▶ファイルを選択

●フォルダー一覧画面の機能メニューはP.395参照。

フォルダー一覧画面　→　ドキュメント一覧画面

■ドキュメントファイル表示中の操作

●機能メニューから操作する場合はP.408参照。

操作	ボタン操作
上スクロール	上
下スクロール	下
右スクロール	右
左スクロール	左
ボタン操作ガイド	メール
ズームアウト	1
全体表示	2

操作	ボタン操作
ズームイン	3
前を検索	4
検索	5
次を検索	6
前のページ	MENU、7、▲
次のページ	カメラTV、9、▼

お知らせ

●Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルには対応していません。

●データによっては、正しく表示されないことがあります。

ドキュメント一覧画面の機能メニュー

iモードメール添付	ドキュメントファイルを添付してiモードメールを作成します。 P.142手順2へ進みます。 ●メール（メール）を押してもiモードメールを作成できます。
ファイル情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。
フォルダ移動	
1件移動	P.350参照
選択移動	P.350参照
全件移動	P.350参照
コピー	
1件コピー	P.351参照

データ管理

	選択コピー	P.351参照
	全件コピー	P.351参照
タイトル編集		P.351参照
保存容量確認		保存容量(目安)を表示します。
削除		
	1件削除	P.351参照
	選択削除	P.352参照
	全削除	P.352参照

ドキュメントファイル表示中の機能メニュー

ズームイン	ファイルの表示サイズを拡大します。 1000%まで拡大できます。
ズームアウト	ファイルの表示サイズを縮小します。 8%まで縮小できます。
表示	ファイルの表示方法を変更します。 ▶**表示方法を選択** ●「倍率指定」を選択した場合は、指定倍率欄に倍率を入力すると指定した倍率で表示できます。 ●「倍率指定」で指定できる倍率は8〜1000%までです。
ページ移動	ファイル内の他のページまたはシートに移動します。 ▶**移動したいページまたはシートを選択** ●Microsoft Wordファイル、Microsoft PowerPointファイルで「指定のページ」を選択した場合は、ページ番号欄に移動したいページ数を入力すると指定したページへ移動できます。
検索	指定した文字列を含む画面を表示します。指定した文字と一致した箇所は、反転表示されます。 ▶**検索**▶**検索文字列の欄を選択**▶**検索したい文字を入力** ●全角8文字/半角16文字まで入力できます。 ▶**指定したい検索条件にチェック**▶[✉](検索) ●「前を検索」や「次を検索」を選択すると、同じ条件で続けて検索できます。
倍率・ページ	ファイルを表示する際に、表示倍率・ページ番号を表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
スクロールバー	ファイルを表示する際に、スクロールバーを表示するかどうかを設定します。 ▶**表示する・表示しない**
表示を回転	▶**右90°回転・左90°回転**
ドキュメント情報	ファイル名やファイル種別などを表示します。

お知らせ

<検索>

●各検索条件の動作は次のとおりです。
単語にマッチ:単語単位で完全に一致した文字列を検索します。
大文字小文字を区別:大文字、小文字を区別して検索します。
現在のページ内で検索(Excelファイルのみ):
現在表示中のページ内でのみ検索します。
ファイル内で検索(Excelファイルのみ):ファイル全体から検索します。

保存した画像を印刷する

microSDカードに保存されている画像の印刷方法を設定する

DPOFとは、デジタルカメラで撮影された静止画用のプリント情報を記録するための指定方式です。microSDカード内の静止画にプリントするかどうかの情報とその枚数を設定します。プリントサービスショップに持ち込んだり、DPOFに対応したプリンタで設定どおりに印刷できます。

1 静止画一覧画面・静止画再生中▶i α(機能)▶DPOF設定▶プリント指定▶プリント枚数を入力

- 「01」～「99」の2桁を入力します。
- 静止画一覧画面の機能メニューから操作した場合は、「1件DPOF設定」または「選択DPOF設定」を選択します。「選択DPOF設定」を選択した場合は、設定したい静止画にチェックを付けて✉(完了)を押します。
- プリント指定を解除するには「プリント指定解除」または「プリント指定全解除」を選択します。

お知らせ

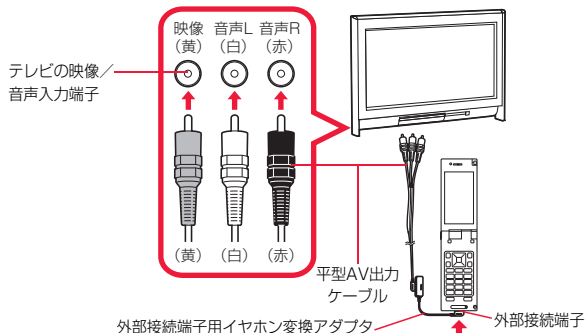
- DPOF設定した画像は種別アイコンが「JPEG」になります。
- 999件までの画像にDPOF設定を設定できます。
- 8Mバイトを超える画像や13M(3120×4160)を超える画像には設定できません。
- microSDカードの空き容量が少ない場合、DPOFが設定されないことがあります。(アイコン表示とピクチャ情報は設定済みとなります。)
- P-04Bで撮影した静止画はPRINT Image MatchingⅢにも対応しています。

<AV出力>

テレビに静止画やｉモーションを表示する

平型AV出力ケーブル P01(別売)を使ってFOMA端末とテレビを接続すると、静止画、ｉモーション、テレビ電話中の映像、ワンセグ、ｉアプリの映像をテレビに表示できます。その他の画面は表示されません。

FOMA端末とテレビを接続する

平型AV出力ケーブル(別売)を使用するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ(別売)が必要です。
平型AV出力ケーブルの平型プラグをイヤホン端子(平型)に差し込み、本体側プラグをFOMA端末の外部接続端子に差し込んでください。

お知らせ

- テレビ以外の機器にも接続して出力できます。
- 平型AV出力ケーブルや外部接続端子用イヤホン変換アダプタを接続するときは、確実に差し込んでください。また、ケーブルを強くひっぱったり、プラグ付近をねじったり、無理な力を加えないでください。
- 平型AV出力ケーブルをテレビなどの機器に接続するときや抜くときは、接続する機器の音量を一度「OFF」にしてください。

つづく

お知らせ

●プラグを抜くときは、プラグを持ってゆっくり抜いてください。

静止画をテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中に静止画を再生する
または
静止画再生中に平型AV出力ケーブルを接続する

- 静止画の再生方法についてはP.349参照。
- MENU(画面)を押すと、画面サイズが切り替わります。
- ✉(回転)を押すたびに、静止画を時計回りに90度ずつ回転できます。
- ◎を押すと前の静止画や次の静止画を表示できます。
- ●(自動)を押すとスライドショーを開始できます。再度●(停止)を押すと停止できます。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。再生を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

●以下の場合はAV出力できません。
・静止画一覧画面やデスクトップに貼り付けたアイコン以外から再生している場合
・「ｉモード」フォルダ、「カメラ」フォルダ、「自動お預かり」フォルダ、ユーザフォルダ、「ピクチャ」フォルダ(microSD)、「イメージボックス」フォルダ(microSD)以外のフォルダ内の静止画を再生している場合
・取得元アイコンが「 」や「 」で、「ファイル制限」が「あり」の静止画を再生している場合
・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影したキャラ電ピクチャを再生している場合
・等倍表示中やピクチャビューアでスライドショーを再生している場合
・Flash画像を再生している場合

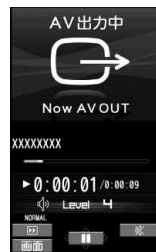
●静止画がVGA(480×640)より大きい場合は、縦横比を保ったままVGA(480×640)以下に縮小してテレビに表示します。

お知らせ

●画面サイズを切り替えると、テレビによっては正しく表示されない場合があります。

ｉモーションをテレビに表示する

1 平型AV出力ケーブル接続中にｉモーションを再生する
または
ｉモーション再生中に平型AV出力ケーブルを接続する

- MENU(画面)を押すと、画面サイズが切り替わります。
- ｉモーションの再生方法や再生中の操作についてはP.360参照。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

●以下の場合はAV出力できません。
・ｉモーション一覧画面やデスクトップに貼り付けたアイコン以外から再生している場合
・取得元アイコンが「 」や「 」で、「ファイル制限」が「あり」のｉモーションを再生している場合
・「撮影後ファイル制限あり」のキャラ電を撮影した動画を再生している場合
・「プリインストール」フォルダ、「移行可能コンテンツ」フォルダ(microSD)のフォルダ内のｉモーションを再生している場合

●画面サイズを切り替えると、テレビによっては正しく表示されない場合があります。

ｉアプリの映像をテレビに表示する

1 **平型AV出力ケーブル接続中にｉアプリを起動する**
または
ｉアプリ起動中に平型AV出力ケーブルを接続する

- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。ｉアプリを終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- FOMA端末を閉じてもAV出力は継続されます。ただし、省電力モードで一時停止した場合は、AV出力できません。
- バックグラウンド再生中はｉアプリのAV出力はできません。
- ｉアプリ実行中に表示されるｉモーションはAV出力できません。

テレビ電話中の映像をテレビに表示する

1 **平型AV出力ケーブル接続中にテレビ電話をする**
または
テレビ電話中に平型AV出力ケーブルを接続する

- AV出力中は「」が表示されます。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜きます。テレビ電話を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- AV出力中はマイクの感度が高くなります。

お知らせ

- AV出力中は「（ハンズフリーマーク）」が表示されませんが、音声は接続している機器より出力されます。ハンズフリー切替はできません。

ワンセグの映像をテレビに表示する

ワンセグ起動時	解除

1 **平型AV出力ケーブル接続中にワンセグを視聴する**
または
ワンセグ視聴中に平型AV出力ケーブルを接続する

- 平型AV出力ケーブルを接続中にAV出力に切り替えるには、機能メニューから「各種設定」→「表示／操作設定」を選択し、「AV出力」を選択します。
- AV出力を中止する場合は、FOMA端末から平型AV出力ケーブルを抜くか、機能メニューから再度「各種設定」→「表示／操作設定」を選択し、「AV出力」を選択します。視聴を終了した場合や他の機能が起動した場合もAV出力は中止されます。

お知らせ

- 字幕やデータ放送はテレビに表示されません。
- 録画中はAV出力できません。
- ワンセグで録画したビデオや静止画はAV出力できません。
- AV出力中の音声は接続している機器より出力され、FOMA端末の音量を調節しても、出力される音量は変わりません。